

平成 23 年度 緑委第 5 号

あさはた緑地ワークショップ運営業務

ワークショップ報告書

平成 24 年 2 月

静岡市緑地政策課

(株)総合設計事務所

目次

1. ワークショップのスケジュールと作業内容	1
2. 第1回ワークショップ	2
(1)ワークショップ次第	2
(2)ワークショップのまとめ	4
(3)ニュースレター	12
3. 第2回ワークショップ	15
(1)ワークショップ次第	15
(2)ワークショップのまとめ	17
(3)ニュースレター	20
2. 第3回ワークショップ	23
(1)ワークショップ次第	23
(2)ワークショップのまとめ	25
(3)ニュースレター	28
■資料	31
1. ワークショップ参加者配布資料	32
(1)第1回ワークショップ	32
(2)第2回ワークショップ	36
(3)第3回ワークショップ	43
■あさはた緑地計画平面図（A案）	
■あさはた緑地計画平面図（B案）	
■あさはた緑地計画平面図（案）	

1. ワークショップのスケジュールと作業内容

「あさはた緑地」ワークショップは下図のように3回開催し、ワークショップに参加していただいた皆さんの思いをひとつにまとめた計画案づくりを行いました。

皆さんが思う「あさはた緑地」をイメージし、アイデアを出し合う。



アイデアを基に緑地の計画案をつくる。



計画案を1案に絞り、提言書としてまとめる。



第1回ワークショップ

9月17日(土)

<概要説明・現地見学・グループ討議>

テーマ「みんなで夢を語ろう!」

あさはた緑地についての説明、現地見学を行った後、グループに分かれ、ラフプランを基にさらに素敵な緑地とするためのアイデアを出し、同じような意見をまとめながら図面に貼りました。

第2回ワークショップ

10月22日(土)

<整備のアイデアを確認>

テーマ「みんなの夢を形にしよう!」

第1回ワークショップで、3つ以上のグループから出された“みんなが欲しい”アイデア10個について、『どこに、どのくらいで、何を』をグループ全員で話し合い図面に描きました。

第3回ワークショップ

11月19日(土)

<計画案のまとめ>

テーマ「いよいよ決定!みんなの夢プラン」

第2回ワークショップで、各グループが提案した配置プランを基に作成された「計画案2案」について、グループや全体での意見交換を行い1案に絞り込み、『提案書』として市に渡しました。

2. 第1回ワークショップ

第1回ワークショップの流れをはじめ、ワークショップのまとめ、地域に回覧したニュースレターをまとめます。

(1) ワークショップ次第

第1回ワークショップは、次頁に示す次第にもとづいて行いました。

あさはた緑地第1回ワークショップ

< 次 第 >

■日 時：平成23年9月17日(土) 午後1時～4時(3時間)

■場 所：スマイルあさはた 3階 32・33会議室

■テーマ：『みんなで夢を語ろう!』

■スケジュール：

1. PM13:00～13:25 (25分) 33 会議室
 - あいさつ
 - ワークショップの進め方 (メインファシリテーター：今永正文氏)
 - あさはた緑地の概要、ラフプランの説明 (緑地政策課)
2. PM13:25～13:40 (15分) 32 会議室
 - 自己紹介 (グループごとに)
3. PM13:40～15:10 (90分)
 - あさはた緑地の現地調査 (実際に現地を見て確認します。)
4. PM15:10～15:40 (30分) 32 会議室
 - 作業のポイントを説明 (メインファシリテーター：今永正文氏)
 - あさはた緑地への思いや整備イメージ、整備したい施設や各ゾーンに対する意見、要望、提案などを記入したポストイットを図面に貼ります。
5. PM15:40～15:50 (10分) 33 会議室
 - グループごとに意見を発表します。(グループの代表を決めてください。)
6. PM15:50～16:00 (10分) 33 会議室
 - まとめ、次回の日程、終わりのあいさつ

<メモ>

■次回 (第2回W.S.) は、10月22日(土) 13:00～15:00の予定です。

(2) ワークショップのまとめ

第1回ワークショップにおいて、参加者が作成した図面や意見などをまとめると次頁のとおりです。

第1回ワークショップ「みんなで夢をかたろう！」のまとめ（グループごと）

《もっと素敵な公園にするアイデア（「こんなものがあつたらいいな」、「こんなことをやってみたいな」など）を出し合ひましょう！》

「赤」グループ

こんな遊具がほしい

- いろんなアスレチック
- 大きいすべり台
- 綱渡り
- スライダー
- ブランコ（10人ブランコ）
- ツリーハウス
- 観覧車
- ジェットコースター
- 砂場
- 子ども達が遊べる木馬を作る

こんなお店がほしい

- 自動販売機
- 飲食店
- 朝市の広場
- 駄菓子屋

木陰がほしい

- 雑木
- 木陰ベンチ
- 多目的広場には木陰を

こんな道がほしい

- 遊歩道の整備
- ウォーキングコース
- 湿地の遊歩道

こんなものがあつたらいいな

- バーベキュー場
- 農作業後使えるシャワー
- 障害を持った人も安心して遊べる場
- ユニバーサルデザイン
- 風力発電、ソーラー発電

こんな場所がほしい

- 庭園
- 花の広場を作る
- 自然観察園（ミズアオ、オハス）
- 芝生広場
- 白サギが舞う風景を眺められる場所
- 野鳥観察小屋
- ホトケドジョウが生息できる小川
- ツチガエルが生息できる環境
- 桜並木（特に河津桜が欲しい）
- ホタルの小川
- 田んぼに生育する絶滅危惧植物が守れる場
- 水遊び場
- 草花の見本を飾る
- 身近な生き物に触れあえる場
- 自由に入水して遊べる（生き物を捕る）スペース

センターハウスで体験したいこと

- 麻機の自然学習コーナー
- 麻機の歴史コーナー
- 昔の道具を使って昭和の暮らしが体験できる場
- 魚の水槽を作る
- みんながニコニコ集える場所
- 食育の場（自分たちで作ったものを食べる）

こんな事やりたいな

- どん遊び
- 木登り
- 工作教室
- 火遊び
- 水遊び
- 虫捕り
- 水辺にて釣りができる

「青」グループ

体験

- 畑の作業
- 星座の見える公園
- センターハウスには古い農機具を集めて展示（昔の農機具の動態展示）
- 地元の食材を使った料理体験
- 草木を使った遊びを教えてください
- 子どもの体験できる所
- 体験広場
- 体験田んぼ
- レンコン畑
- お母さん方の朝市
- 麻機の歴史展示
- 花壇でできたハーブでお茶を

自然

- 緑いっぱい、花いっぱいの公園
- きれいな川のある公園
- 魚釣りができる公園
- 四季折々の花
- 鳥が寄ってくるように餌場を作る
- 水遊びのできる川
- 多目的広場の周りに常緑樹を植える
- 魚捕り、シジミのいる小川
- 自然（鳥、虫）など観察できる場所
- オニバスの再生
- 小川など自然
- コスモスの土手をつくる（何万本も）
- 色々な種類の木や緑のある公園
- 実のなる木を（収穫できる）
- モミジ、イチョウ、カエデなどの葉っぱが拾える公園
- どんぐりや松ぼっくりが拾える公園

遊具

- アスレチック遊具
- 木製の遊具のある公園
- フィールドアスレチックのある公園

施設

- 淡水魚観察園があると楽しい（淡水魚水族館）
- 汚れた手足を洗う所が欲しい
- 車椅子の方も自分の力で散歩できる遊歩道を整備
- 木のチップ舗装
- 駐車場は多く欲しい
- 日陰の多い公園づくりを（たくさんの木々、藤棚、木陰に木のベンチ、大きい木）
- ローシート、ヒールズもできたらいいな
- 水没しないセンターハウスづくりを
- 多目的トイレ
- 散策道
- あまり色々な施設や遊具をつくらない（自然第一の質素な公園を）
- たくさんの入口があって、どこからも出入りできる公園を
- 雨の日でも人が集える場へ

全体のこと

- 市内の色々な所たくさんの方が来る（市外からも、第二東名）
- 高齢者が集える（例えばゲートボール）
- 駐車場もセンターハウスも全ての場所がバリアフリーとなっている
- 健常者だけが楽しめる場ではなく、障害を持つ人も老人も憩いの場となるように
- 子どもから老人まで、健常者も障害者も
- 散歩できる所
- 幅広い年代の人が遊べる公園

イベント

- 収穫祭
- 案山子まつり
- ミニコンサートができる場所
- ドロサッカー（田んぼで）

「黄」グループ

施設

- 水族館
- ログハウス
- バーベキュー
- 売店
- 駐輪場
- 草刈ステーション
- トイレ
- ベンチ
- 水飲み
- 水車
- 駐車場とセンターハウスは高床式で作り、下は水の溜まる構造に
- 駐車場は今の倍以上のスペースが欲しい
- ボートを浮かべる水面
- 地場産品売店 ● 展望台（やぐら）
- グランドゴルフができる所
- 麻機の歴史資料館
- 夜間照明（ライトアップではなく安全のために（治安））
- 太陽光発電（防犯灯）
- 県外にアピール

植物・自然

- 紅葉並木
- 桜並木
- 周りに花を植える
- 子供博士が先生になって「自然観察」の教室
- 土手には彼岸花
- 実のなる木
- 周りの土手は花（桜）が一杯にうめたい
- 小・中学生がコーチになる「自然教室」
- 収穫の楽しみを体験できる場
- ナンジャモンジャの木
- 総面積 200ha の中の公園としての機能を考えたい
- 草花の公園
- 大勢の人が集まれるような広い駐車場
- 水の中に入って遊べる場所と仕掛け
- 来た時よりも美しくなる公園
- ピオトープ
- 花畑
- オニバスを植えたい
- 藤棚
- 芝の広場

活用方法

- 地域の活性に役立つのかを真剣に考えたい
- 水遊び場
- 機織り、竹かごづくり、縄づくりなど体験できる場
- 遊歩道が回れるコースとしてウォーキングコース
- ジョギングコースがほしい
- 小さな子の水遊び場
- 子供が地域のじいちゃん、ばあちゃんに色々教わる場
- 「10 万年後」に責任をもてるきっかけとなる要素
- 泥んこ遊び、小動物に触れる遊び場
- そば・うどん打ち体験
- 水への安全対策は（柵・フェンスがあるとどうも）
- 収穫の楽しみを得るためには、実は大変地味な草刈りなど必要なことを体感できる場
- 体験田んぼは要らない
- この公園が麻機だけでなく、市全体で誇れる公園にしたい
- 自然を紹介しながら回れるコースがほしい
- 外周の道路との接続は
- 湧水利用（小川、子ども達が泳ぐところ）
- サイクリングロード
- 素足で歩ける公園
- 魚釣りのできる場所
- 水槽（魚等）
- バリアフリー（誰もが使いやすい、段差が無い）
- 多目的広場はもっと広くしてほしい
- シンボルがほしい（例えばアスレチック）

「緑」グループ

公園

- ウォーキング、ジョギング周回コース（土の道）
- トイレはバイオトイレ
- 子供が素足で走り回れる芝生広場
- プレイパーク
- 小動物を飼う（ウサギ、リスなど）
- ツリーハウス

体験

- 農業体験（畑・田んぼ）
- 花の種を蒔いて育てられるスペース
- 家屋は高床式にすれば舞台に使えるかも（イベント広場になる）
- あさはたの農作物の直売（無人・販売も可）
- 朝市コーナー

水辺

- 魚釣りができる（釣り場）
- 水辺で水遊びができる

花畑

- 水生植物園
- カキツバタ園
- 花ショウブ園
- ハス畑
- あやめ、スイレンを多く植えたい
- きれいな花畑を
- 遊水地周囲堤には花や低木を植えたい

たくさんの木陰

- 広場は芝生公園で日陰は大きな木を植える
- 木陰はなるべく広く大きな木
- 藤棚

湧水

- 湧水を浄化して飲水できるように
- 池に水を補給したい。場所は巴川（土手）左岸に上の水路から水を取りたい

センターハウスの整備

- センターハウスの中には自然図書館
- 調理室を（れんこん料理等の普及）
- 麻機の歴史館を（古民具等の展示）

ピオトープ

- トンボ池
- めだか池
- 水辺はピオトープの散歩道
- コウノトリを呼ぼう
- 虫の観察のできる場所
- 湿地には木道を（第 4 工区、尾瀬沼にもあるので小規模でも）

撮影ポイント

- 写真撮影のポイントを
- イベントステージを作る

第1回ワークショップ「みんなで夢をかたろう！」のまとめ（全体）

《もっと素敵な公園にするアイデア（「こんなものがあつたらいいな」、「こんなことをやってみたいな」など）を出し合ひましょう！》

こんな公園にしたい

- 市内の色々な所から、たくさんの方が来る（市外からも、第二東名）
- 麻機だけでなく、市全体で誇れる公園にしたい
- 「10万年後」に責任をもてるきっかけとなる要素
- 子どもが地域のじっちゃん、ばっちゃんに色々教わる場
- 収穫の楽しみを得るためには、実は大変地味な草刈りなど必要なことを体感できる場
- モミジやカエデ、イチヨウなどの葉や、どんぐり、松ぼっくりなどの実が拾える公園
- 星座の見える公園 ● 緑いっぱい、花いっぱいの公園 ● きれいな川のある公園
- 幅広い年代の人が遊べる公園 ● 素足で歩ける公園

こんな施設がほしい

遊具

- 大きい滑り台 ● 木馬 ● 砂場
- スライダー ● 綱渡り ● 木製遊具
- ツリーハウス ● アスレチック遊具
- フィールドアスレチック
- ブランコ（10人乗り）
- ジェットコースター ● 観覧車
- ローラースケート（ヒーリーズ）場

お店

- 自動販売機 ● 飲食店 ● 駄菓子屋
- 朝市（農作物の直売所） ● 売店

休憩するために

- 木陰ベンチ ● 藤棚
- 多目的広場に木陰を（大きな木を植える）

環境にやさしい

- 風力発電 ● ソーラー発電
- 来た時よりも美しくなる公園

全ての人が使いやすい

- 障害を持った人も安心して遊べる憩いの場
- 全ての施設をユニバーサルデザインで

施設・広場・場所など

- 多目的トイレ ● バイオトイレ
- 手洗い場（水飲み） ● 水車
- ログハウス ● 駐輪場
- 展望台（やぐら） ● 夜間照明灯
- イベントステージ ● ポート用水面
- バーベキュー場 ● 体験広場
- 芝生広場 ● プレイパーク
- 釣り場 ● 水遊び場（川）
- 庭園 ● 花の広場
- 朝市広場 ● お花畑（花壇）
- 雨天でも集える場 ● 草刈ステーション
- 農作業後使えるシャワー
- 小動物の飼育場（触れ合える場）
- 高齢者が集える広場（ゲートボール）
- グラウンドゴルフができる広場
- センターハウスなどや駐車場は高床式に（舞台に利用、下に水が溜まるように）
- 多くの入口 ● 写真撮影ポイント

木や花

- 多目的広場の周りに常緑樹を植える
- 遊水地の堤には花や低木を植栽（コスモス、彼岸花、桜）
- 桜並木（河津桜） ● 紅葉並木 ● 雑木
- 実のなる（収穫できる）木を植える
- 四季折々の花 ● ナンジャモンジャの木

園路

こんな園路を

- 遊歩道（散策道）
- ウォーキングコース
- 湿地の遊歩道
- ジョギングコース
- サイクリングロード
- 自然観察路

こんな園路に

- 木のチップ舗装
- 土の道
- バリアフリー
- 木道（湿地内）

検討課題

- 自然第一の質素な公園に（色々な施設や遊具をつくらない）
- 多目的広場はもっと広く
- 駐車場は多く（広い駐車場）
- 地域の活性化に役立つか考えたい
- 体験田んぼはいらない
- 総面積200haの中の公園としての機能を考えたい
- 水への安全対策は（柵・フェンスがあるとどうも）

自然再生のために

こんな施設・場所がほしい

- 自然観察園（ミズアオイ、オニバス）
- 水生植物園（加賀タ、ハナショウブ、アヤメ、スリソ）
- 淡水魚観察園（淡水魚水族館、水槽）
- 野鳥観察小屋 ● ビオトープ
- 虫の観察の場 ● ハス畑
- 野鳥の餌場づくり ● 体験田んぼ
- トンボ池、メダカ池
- 水辺の生き物を捕ることができる場
- 身近な生き物に触れ合える場
- 白サギが舞う風景を眺められる場所

環境整備

- ホトケドジョウやホタルが生息できる小川
- 田んぼに生育する絶滅危惧植物が守れる場
- ツチガエルが生息できる環境
- コウノトリを呼び戻す
- シジミのいる小川
- 湧水の利用（浄化して飲水）
- 子ども博士（小・中学生）が先生になっての「自然観察」・「自然教室」
- 池に水を補給したい（場所は巴川左岸土手の上の水路から水を取りたい）

体験したいこと

センターハウスで

- 麻機の自然学習コーナー（自然図書館）
- 麻機の歴史展示（歴史資料館）
- 昔の道具を使って昭和の暮らしを体験
- 古い農機具等を集めて展示（動態展示）
- 魚の水槽づくり
- 食育（自分たちで作ったものを食べる）
- 地元の食材を使った料理体験（調理室）
- 花壇で育てたハーブティーの提供
- 草木の標本を展示

こんな事をしてみたい(イベント)

- どんろ遊び ● 木登り ● 工作教室
- 火遊び ● 水遊び ● 虫捕り
- 釣り（魚とり） ● 草木を使った遊び
- 農業体験（田んぼ、畑、レンコン畑）
- そば・うどん打ち体験
- 機織、竹かご・縄づくりなどの体験
- 収穫祭 ● 案山子まつり
- どんろサッカー ● ミニコンサート

第1回ワークショップ「みんなで夢をかたろう！」のまとめ（全体＋意見）

《もっと素敵な公園にするアイデア（「こんなものがあつたらいいな」、「こんなことをやってみたいな」など）を出し合いました！》

こんな公園にしたい

- 市内の色々な所から、たくさんの人が来る（市外からも、第二東名）
- 麻機だけでなく、市全体で誇れる公園にしたい
- 「10万年後」に責任をもてるきっかけとなる要素
- 子どもが地域のじっちゃん、ばっちゃんに色々教わる場
- 収穫の楽しみを得るためには、実は大変地味な草刈りなど必要なことを体感できる場
- モミジやカエデ、イチヨウなどの葉や、どんぐり、松ぼっくりなどの実が拾える公園
- 星座の見える公園 ● 緑いっぱい、花いっぱいの公園 ● きれいな川のある公園
- 幅広い年代の人が遊べる公園 ● 素足で歩ける公園 ● 桜や草花が咲く乱れる公園
- ホタル祭りができるよう、地域（学校）が協力してホタルを育て地域活性化

園路

- 遊歩道（散策道）
- ウォーキングコース
- 湿地の遊歩道
- ジョギングコース
- サイクリングロード
- 自然観察路
- 木のチップ舗装
- 土の道
- バリアフリー
- 木道（湿地内）

検討課題

- 自然第一の質素な公園に（色々な施設や遊具をつくらない）
- 多目的広場はもっと広く（様々なイベントに利用できるように）
- 駐車場は多く（広い駐車場）
- 地域の活性化に役立つか考えたい
- 体験田んぼはいらない（水田は周辺の民地協力を得る）
- 総面積 200ha の中の公園としての機能を考えたい
- 水への安全対策は（柵・フェンスがあるとどうも）
- センターハウスの使用目的（近隣施設との連携）、体験広場の必要性。（多目的広場との関連）、福祉園芸とは（期待するもの）
- 緑地の維持管理を検討する必要がある。

こんな施設がほしい

遊具

- 大きい滑り台 ● 木馬 ● 砂場
- スライダー ● 綱渡り ● 木製遊具
- ツリーハウス ● アスレチック遊具
- フィールドアスレチック
- ブランコ（10人乗り）
- ジェットコースター ● 観覧車
- ローラースケート（ヒーリーズ）場

お店

- 自動販売機 ● 飲食店 ● 駄菓子屋
- 朝市（農作物の直売所） ● 売店

休憩するために

- 木陰ベンチ ● 藤棚
- 多目的広場に木陰を（大きな木を植える）

環境にやさしい

- 風力発電 ● ソーラー発電
- 来た時よりも美しくなる公園

木や花

- 多目的広場の周りに常緑樹を植える
- 遊水地の堤には花や低木を植栽（コスモス、彼岸花、桜）
- 桜並木（河津桜） ● 紅葉並木 ● 雑木
- 実のなる（収穫できる）木を植える
- 四季折々の花 ● ナンジャモンジャの木
- 樹種を選定し記念植樹の場に

施設・広場・場所など

- 多目的トイレ ● バイオトイレ
- 手洗い場（水飲み） ● 水車
- ログハウス ● 駐輪場
- 展望台（やぐら） ● 夜間照明灯
- イベントステージ ● ボート用水面
- バーベキュー場 ● 体験広場
- 芝生広場 ● プレイパーク
- 釣り場 ● 水遊び場（川）
- 庭園 ● 花の広場
- 朝市広場 ● お花畑（花壇）
- 雨天でも集える場 ● 草刈ステーション
- 農作業後使えるシャワー
- 小動物の飼育場（触れ合える場）
- 高齢者が集える広場（ゲートボール）
- グラウンドゴルフができる広場
- センターハウスなどや駐車場は高床式に（舞台に利用、下に水が溜まるように）
- 多くの入口 ● 写真撮影ポイント
- ドッグラン
- 旧東村の郷倉を移築（機材収納として）
- 大案内板（旧麻機地区の名所旧跡を網羅）
- 史跡めぐりのためのガイドの育成

全ての人が使いやすい

- 障害を持った人も安心して遊べる憩いの場
- 全ての施設をユニバーサルデザインで

自然再生のために

こんな施設・場所がほしい

- 自然観察園（ミズアオイ、オニバス）
- 水生植物園（ガザリ、ハナショウブ、アヤメ、スズク）
- 淡水魚観察園（淡水魚水族館、水槽）
- 野鳥観察小屋 ● ビオトープ
- 虫の観察の場 ● ハス畑
- 野鳥の餌場づくり ● 体験田んぼ
- トンボ池、メダカ池
- 水辺の生き物を捕ることができる場
- 身近な生き物に触れ合える場
- 白サギが舞う風景を眺められる場所
- 綿花の栽培（機織りに利用）

環境整備

- ホトケドジョウやホタルが生息できる小川
- 田んぼに生育する絶滅危惧植物が守れる場
- ツチガエルが生息できる環境
- コウノトリを呼び戻す
- シジミのいる小川
- 湧水の利用（浄化して飲水）
- 子ども博士（小・中学生）が先生になっての「自然観察」・「自然教室」
- 池に水を補給したい（場所は巴川左岸土手の上の水路から水を取りたい）
- 工業用水を小川の保給水に利用したら

体験したいこと

センターハウスで

- 麻機の自然学習コーナー（自然図書館）
- 麻機の歴史展示（歴史資料館）
- 昔の道具を使って昭和の暮らしを体験
- 古い農機具等を集めて展示（動態展示）
- 魚の水槽づくり
- 食育（自分たちで作ったものを食べる）
- 地元の食材を使った料理体験（調理室）
- 花壇で育てたハーブティーの提供
- 草木の標本を展示

こんな事をしてみたい(イベント)

- どんと遊び ● 木登り ● 工作教室
- 火遊び ● 水遊び ● 虫捕り
- 釣り（魚とり） ● 草木を使った遊び
- 農業体験（田んぼ、畑、レンコン畑）
- そば・うどん打ち体験
- 機織、竹かご・縄づくりなどの体験
- 収穫祭 ● 案山子まつり
- どんとサッカー ● ミニコンサート
- どんと焼き、餅つき大会、連ごい飾り、風車の祭典、ウォークラリー、バラのトンネル

第1回ワークショップ「みんなで夢をかたろう！」のまとめ（緑地の機能による分類）

景観形成機能（昔ながらの自然景観や緑のある都市景観などを形成する場）

- 「10万年後」に責任をもてるきっかけとなる要素
- 緑いっぱい、花いっぱいの公園

緑の形成

- 多目的広場の周りに常緑樹を植える
- 遊水地の堤には花や低木を植栽（コスモス、彼岸花、桜）
- 桜並木（河津桜）
- 紅葉並木
- 雑木
- 実のなる（収穫できる）木を植える
- 四季折々の花
- ナンジャモンジャの木
- 樹種を選定し記念植樹の場に

レクリエーション機能（遊びや運動、散歩、休息などさまざまな活動の場）

- 収穫の楽しみを得るためには、実は大変地味な草刈りなど必要なことを体感できる場
- 素足で歩ける公園
- 星座の見える公園

遊びの場

- プレイパーク
- 釣り場
- 水遊び場（川）
- 大きい滑り台
- 木馬
- 砂場
- スライダー
- 綱渡り
- 木製遊具
- ツリーハウス
- アスレチック遊具
- フィールドアスレチック
- ブランコ（10人乗り）
- 展望台（やぐら）
- ジェットコースター
- 観覧車
- ローラースケート（ヒーリーズ）場

軽運動や健康増進の場

- 芝生広場
- 高齢者が集える広場（ゲートボール）
- グラウンドゴルフができる広場

役に立つ施設

- 自動販売機
- 飲食店
- 駄菓子屋
- 朝市（農作物の直売所）
- 売店
- 多目的トイレ
- パイオトイレ
- 手洗い場（水飲み）
- 駐輪場
- 夜間照明灯
- 農作業後使えるシャワー
- 草刈ステーション
- ログハウス
- 多くの入口
- 風力発電
- ソーラー発電
- 旧東村の郷倉を移築（機材収納として）

全ての人が使いやすい

- 障害を持った人も安心して遊べる憩いの場
- 全ての施設をユニバーサルデザインで

検討課題

- 自然第一の質素な公園に（色々な施設や遊具をつくらない）
- 駐車場は多く（広い駐車場）
- 多目的広場はもっと広く（様々なイベントに利用できるように）
- 地域の活性化に役立つか考えたい
- 体験田んぼはいらない（水田は周辺の民地協力を得る）
- 総面積200haの中の公園としての機能を考えたい
- 水への安全対策は（柵・フェンスがあるとどうも）
- センターハウスの使用目的（近隣施設との連携）、体験広場の必要性。（多目的広場との関連）、福祉園芸とは（期待するもの）
- 緑地の維持管理を検討する必要がある。

環境維持・改善機能（大気浄化、気温緩和、身近な生物生息・自然とのふれあいの場）

- モミジやカエデ、イチヨウなどの葉や、どんぐり、松ぼっくりなどの実が拾える公園
- きれいな川のある公園
- 来た時よりも美しくなる公園
- 桜や草花が咲く乱れる公園

身近な生物生息の場

- ホトケドジョウやホタルが生息できる小川
- 田んぼに生育する絶滅危惧植物が守れる場
- ツチガエルが生息できる環境
- コウノトリを呼び戻す
- シジミのいる小川
- 湧水の利用（浄化して飲み）
- 池に水を補給したい（場所は巴川左岸土手の上の水路から水を取りたい）
- 工業用水を小川の保給水に利用したら

自然とのふれあいの場

- 自然観察園（ミズアオイ、オニバス）
- 水生植物園（加賀ガサ、ハナショウブ、アヤメ、スリソ）
- 淡水魚観察園（淡水魚水族館、水槽）
- 野鳥観察小屋
- ビオトープ
- 虫の観察の場
- ハス畑
- 野鳥の餌場づくり
- 体験田んぼ
- トンボ池、メダカ池
- 水辺の生き物を捕ることが出来る場
- 身近な生き物に触れ合える場
- 白サギが舞う風景を眺められる場所
- 綿花の栽培（機織りに利用）

学習の場

- 麻機の自然学習コーナー（自然図書館）
- 子ども博士（小・中学生）が先生になっての「自然観察」「自然教室」
- 魚の水槽づくり
- 食育（自分たちで作ったものを食べる）
- 地元の食材を使った料理体験（調理室）
- 花壇で育てたハーブティーの提供
- 草木の標本を展示
- 水車

イベント

- どん遊び
- 木登り
- 工作教室
- 火遊び
- 水遊び
- 虫捕り
- 釣り（魚とり）
- 草木を使った遊び
- 農業体験（田んぼ、畑、レンコン畑）

交流機能（地域のイベントや文化・観光の拠点など地域交流の核となる場）

- 市内の色々な所から、たくさんの方が来る（市外からも、第二東名）
- 麻機だけでなく、市全体で誇れる公園にしたい
- 子どもが地域のじっちゃん、ばっちゃんに色々教わる場
- 幅広い年代の人が遊べる公園
- ホタル祭りができるように、地域（学校）が協力してホタルを育て地域活性化に
- 史跡めぐりのためのガイドの育成

交流施設

- イベントステージ
- 体験広場
- 朝市広場
- 雨天でも集える場
- 麻機の歴史展示（歴史資料館）
- 昔の道具を使って昭和の暮らしを体験
- 古い農機具等を集めて展示（動態展示）
- 大案内板（旧麻機地区の名所旧跡を網羅）

イベント

- どんサッカー
- ミニコンサート
- 収穫祭
- 案山子まつり
- 機織、竹かご・縄づくりなどの体験
- そば・うどん打ち体験
- どんど焼き、餅つき大会、連ごい飾り、風車の祭典、ウォークラリー、バラのトンネル

防災機能（災害時の避難地・延焼防止、降雨時の雨量調整・洪水防止などの場）

- センターハウスなどや駐車場は高床式に（舞台に利用、下に水が溜まるように）

第1回ワークショップにおいて出されたアイデアの対応について

	施設名	提 案				検討事項	判定
		赤	青	黄	緑		
こ ん な 公 園 に し た い	市内の色々な所から、たくさんの方が来る		○				
	麻機だけでなく、市全体で誇れる公園にしたい			○			
	「10万年後」に責任をもてるきっかけとなる要素			○			
	子どもが地域のじっちゃん、ばっちゃんに色々教わる場			○			
	収穫の楽しみを得るためには、実は大変地味な草刈りなど必要なことを体験できる場			○			
	モミジやカエデ、イチョウなどの葉や、どんぐり、松ぼっくりなどの実が拾える公園		○				
	星座の見える公園		○				
	緑いっぱい、花いっぱいの公園		○	○			
	きれいな川のある公園		○				
	幅広い年代の人が遊べる公園		○				
素足で歩ける公園			○				
遊 具	大きい滑り台	○					
	木馬	○					
	砂場	○					
	スライダー	○					
	綱渡り	○					
	木製遊具		○				
	ツリーハウス	○			○		
	アスレチック遊具	○	○	○			
	フィールドアスレチック		○				
	ブランコ(10人乗り)	○					
	ジェットコースター	○					
	観覧車	○					
	ローラースケート場		○				
こ ん な 施 設 が ほ し い	多目的トイレ		○	○			
	バリオトイレ				○		
	手洗い、水飲み		○	○			
	水車			○			
	ログハウス			○			
	駐輪場			○			
	展望台(やぐら)			○			
	夜間照明灯			○			
	イベントステージ				○		
	ボート用水面			○			
	バーベキュー場	○		○			
	体験広場		○				
	芝生広場	○		○	○		
	プレイパーク				○		
	釣り場		○	○	○		
	水遊び場(川)	○	○	○	○		
	庭園	○					
	花の広場	○					
	朝市広場				○		
	お花畑(花壇)			○	○		
	雨天でも集える場		○				
	草刈ステーション			○			
	農作業後使えるシャワー	○					
小動物の飼育場(触れ合える場)			○	○			
高齢者が集える広場(ゲートボール)		○					
グラウンドゴルフができる広場			○				
センターハウスなどや駐車場は高床式に		○	○	○			
多くの入口		○					
写真撮影ポイント					○		
お 店	自動販売機	○					
	飲食店	○					
	駄菓子屋	○					
	朝市(農作物の直売所)	○	○	○	○		
	売店			○			
休 息	木陰ベンチ	○	○	○			
	藤棚		○	○	○		
	多目的広場に大きな木を(木陰)	○	○		○		
環 境	風力発電	○					
	ソーラ発電	○		○			
	来た時よりも美しく			○			
木 や 花	多目的広場の周りに常緑樹を植える		○				
	遊水地の堤には花や低木を植栽(コスモス、彼岸花、桜)		○	○	○		
	桜並木(河津桜)	○		○			
	紅葉並木			○			
	雑木	○					
	実のなる(収穫できる)木を植える		○	○			
	四季折々の花		○				
ナンジャモンジャの木			○				
全 て の	障害を持った人も安心して遊べる憩いの場	○	○				
	全ての施設をユニバーサルデザインで	○	○	○			

第1回ワークショップにおいて出されたアイデアの対応について

施設名		提 案				検討事項	判定
		赤	青	黄	緑		
自然再生のために	こんな施設・場所がほしい	自然観察園(ミズアオイ、オニバス)	○	○	○		
		水生植物園(カキツバタ、ハナショウブ、アヤメ、スイレン)				○	
		淡水魚観察園(淡水魚水族館、水槽)		○	○		
		野鳥観察小屋	○	○			
		ピオトープ			○		
		虫の観察の場		○		○	公園内どこでも可能。あえて設けない
		ハス畑		○	○	○	
		野鳥の餌場づくり		○			
		トンボ池、メダカ池				○	
		体験たんぼ		○			
	環境整備	水辺の生き物を捕ることができる場	○				
		身近な生き物に触れ合える場	○				
		白サギが舞う風景を眺められる場所	○				
		ホトケドジョウやホタルが生息できる小川	○				
		たんぼに生育する絶滅危惧植物が守れる場	○				
		ツチガエルが生息できる環境	○				
		コウノトリを呼び戻す				○	
		シジミのいる小川		○			
		湧水の利用(浄化して飲水)				○	水質に問題あり? ×
		子ども博士(小・中学生)が先生になっての「自然観察」・「自然教室」		○			小中学生への指導方法などシステムの構築を検討 △
池に水を補給したい(場所は巴川左岸土手の上の水路から水を取りたい)				○	補給を検討する △		
体験したいこと	センターハウスで	麻機の自然学習コーナー(自然図書館)	○			○	
		麻機の歴史展示(歴史資料館)	○	○	○	○	
		昔の道具を使って昭和の暮らしを体験	○				
		古い農機具等を集めて展示(動態展示)		○			
		魚の水槽づくり	○				
		食育(自分たちで作ったものを食べる)	○				
		地元の食材を使った料理体験(調理室)		○		○	
		花壇で育てたハーブティーの提供		○			
		草木の標本を展示	○				
		こんな事をしてみたい	どろ遊び	○		○	
	木登り		○				
	工作教室		○				
	火遊び		○				
	水遊び		○				
	虫捕り		○				
	釣り(魚とり)		○	○			
	草木を使った遊び			○			
	農業体験			○	○	○	
	そば・うどん打ち体験				○		
	機織、竹かご・縄づくりなどの体験			○			
園路	こんな園路を	遊歩道(散策道)	○	○			
		ウォーキングコース	○		○	○	
		湿地の遊歩道	○			○	
		ジョギングコース			○	○	
		サイクリングコース			○		設置しない。歩行者との接触を避けるため、園路内は自転車の走行を禁止する。 ×
	こんな園路	自然観察路			○		○
		木のチップ舗装		○			
		土の道				○	
		バリアフリー		○	○		
		木道(湿地内)				○	
検討課題	自然第一の質素な公園に(色々な施設や遊具をつくらない)		○				
	多目的広場はもっと広く			○			
	駐車場は広く(駐車台数を増やす)		○	○			
	地域活性化に役立つか			○			
	体験たんぼは不要			○			
	麻機遊水地全体の中の公園としての機能			○			
水への安全対策(柵は無い方がいい)			○				

注) 判定欄の○印は「設置の可能性が高い施設」、△印は「検討が必要な施設」、×印は「設置等が難しい施設」

(3) ニュースレター

第1回ワークショップの様子を、広く地域住民の方々にお知らせするために作成、配布したニュースレターは次頁のとおりです。

ワークショップ特集号



こんにちは。自然公園部会です。

今回は、静岡市と麻機学区自治会連合会主催の『第1回あさはた緑地ワークショップ』の様子についてお知らせします。

●このような内容でした

平成23年9月17日（土）午後1時より、スマイルあさはたにおいて、麻機学区の住民の皆さん26人が参加し『第1回あさはた緑地ワークショップ』が開催されました。...

●あさはた緑地ラフプラン



●ワークショップの様子 その2

<各グループのアイデア発表>



●あさはた緑地の『特徴』を確認しました。



あさはた緑地活用探る 市、地域住民と意見交換 葵区

公衆化の計画について案を出し合うワークショップの参加者一静岡市葵区のスマイルあさはた...



参加者全員で記念写真“ハイチーズ”



●ワークショップの様子が18日の静岡新聞朝刊に掲載されました。



「あさはた緑地」の整備について(静岡市緑地政策課より)

- 「あさはた緑地」の今後の事業予定は、平成 24 年度に実施設計の準備を行い、平成 25 年度に実施設計を完了、平成 26 年度からの整備開始を目指します。...

次回の第2回ワークショップは、10月22日（土）午後1時より、「スマイルあさはた」で開催します。見学参加はどなたでもできます。...

問合せ先：静岡市都市局都市計画部 緑地政策課 担当 清水・森 Tel 054-221-1432...

●ワークショップの様子 その1

<現地見学>



<素敵な緑地にするためのアイデアを出し合おう！>



注『あさはた緑地』は、麻機遊水地第1工区内に計画されている緑地です。

第1回ワークショップ「みんなで夢をかたろう！」のまとめ (4つのグループから出されたアイデアをまとめました。)

《さらに素敵な公園にするアイデア(「こんなものがあっていいな」、「こんなことをやってみたいな」など)を出し合いました!》

こんな公園にしたい



- 市内の色々な所から、たくさんの人に来る(市外からも、第二東名)
- 麻機だけでなく、市全体で誇れる公園にしたい
- 「10万年後」に責任をもてるきっかけとなる要素
- 子どもが地域のじっちゃん、ばっちゃんに色々教わる場
- 収穫の楽しみを得るためには、実は大変地味な草刈りなど必要なことを体感できる場
- モミシやカエデ、イチヨウなどの葉や、どんぐり、松ぼっくりなどの実が拾える公園
- 星座の見える公園 ● 緑いっぱい、花いっぱいの公園 ● きれいな川のある公園
- 幅広い年代の人が遊べる公園 ● 素足で歩ける公園

こんな施設がほしい

遊具

- 大きい滑り台 ● 木馬 ● 砂場
- スライダー ● 綱渡り ● 木製遊具
- ツリーハウス ● アスレチック遊具
- フィールドアスレチック
- ブランコ(10人乗り)
- ジェットコースター ● 観覧車
- ローラースケート(ヒーリーズ)場

お店

- 自動販売機 ● 飲食店 ● 駄菓子屋
- 朝市(農作物の直売所) ● 売店

休憩するために

- 木陰ベンチ ● 藤棚
- 多目的広場に木陰を(大きな木を植える)

環境にやさしい

- 風力発電 ● ソーラー発電
- 来た時よりも美しくなる公園

全ての人が使いやすい

- 障害を持った人も安心して遊べる憩いの場
- 全ての施設をユニバーサルデザインで

施設・広場・場所など

- 多目的トイレ ● バイオトイレ
- 手洗い場(水飲み) ● 水車
- ログハウス ● 駐輪場
- 展望台(やぐら) ● 夜間照明灯
- イベントステージ ● ボート用水面
- バーベキュー場 ● 体験広場
- 芝生広場 ● プレイパーク
- 釣り場 ● 水遊び場(川)
- 庭園 ● 花の広場
- 朝市広場 ● お花畑(花壇)
- 雨天でも集える場 ● 草刈ステーション
- 農作業後使えるシャワー
- 小動物の飼育場(触れ合える場)
- 高齢者が集える広場(ゲートボール)
- グラウンドゴルフができる広場
- センターハウスなどや駐車場は高床式に(舞台に利用、下に水が溜まるように)
- 多くの入口 ● 写真撮影ポイント

木や花

- 多目的広場の周りに常緑樹を植える
- 遊水地の堤には花や低木を植栽(コスモス、彼岸花、桜)
- 桜並木(河津桜) ● 紅葉並木 ● 雑木
- 実のなる(収穫できる)木を植える
- 四季折々の花 ● ナンジャモンジャの木

園路

こんな園路を

- 遊歩道(散策道)
- ウォーキングコース
- 湿地の遊歩道
- ジョギングコース
- サイクリングロード
- 自然観察路

こんな園路に

- 木のチップ舗装
- 土の道
- バリアフリー
- 木道(湿地内)

検討課題

- 自然第一の質素な公園に(色々な施設や遊具をつくらない)
- 多目的広場はもっと広く
- 駐車場は多く(広い駐車場)
- 地域の活性化に役立つか考えたい
- 体験田んぼはいらない
- 総面積200haの中の公園としての機能を考えたい
- 水への安全対策は(柵・フェンスがあるとどうも)

自然再生のために

こんな施設・場所がほしい

- 自然観察園(ミズアオイ、オニバス)
- 水生植物園(アザミ、アサガオ、アヤメ、スイレン)
- 淡水魚観察園(淡水魚水族館、水槽)
- 野鳥観察小屋 ● ビオトープ
- 虫の観察の場 ● ハス畑
- 野鳥の餌場づくり ● 体験田んぼ
- トンボ池、メダカ池
- 水辺の生き物を捕ることができる場
- 身近な生き物に触れ合える場
- 白サギが舞う風景を眺められる場所

環境整備

- ホトケドジョウやホタルが生息できる小川
- 田んぼに生育する絶滅危惧植物が守れる場
- ツチガエルが生息できる環境
- コウノトリを呼び戻す
- シジミのいる小川
- 湧水の利用(浄化して飲み)
- 子ども博士(小・中学生)が先生になっての「自然観察」・「自然教室」
- 池に水を補給したい(場所は巴川左岸土手の上の水路から水を取りたい)

体験したいこと

センターハウスで

- 麻機の自然学習コーナー(自然図書館)
- 麻機の歴史展示(歴史資料館)
- 昔の道具を使って昭和の暮らしを体験
- 古い農機具等を集めて展示(動態展示)
- 魚の水槽づくり
- 食育(自分たちで作ったものを食べる)
- 地元の食材を使った料理体験(調理室)
- 花壇で育てたハーブティーの提供
- 草木の標本を展示

こんな事をしてみたい(イベント)

- どんろ遊び ● 木登り ● 工作教室
- 火遊び ● 水遊び ● 虫捕り
- 釣り(魚とり) ● 草木を使った遊び
- 農業体験(田んぼ、畑、レンコン畑)
- そば・うどん打ち体験
- 機織、竹かご・縄づくりなどの体験
- 収穫祭 ● 案山子まつり
- どんろサッカー ● ミニコンサート

3. 第2回ワークショップ

第2回ワークショップの流れをはじめ、ワークショップのまとめ、地域に回覧したニュースレターをまとめます。

(1) ワークショップ次第

第2回ワークショップは、次頁に示す次第にもとづいて行いました。

あさはた緑地第2回ワークショップ

< 次 第 >

■日 時：平成23年10月22日(土) 午後1時～3時(2時間)

■場 所：スマイルあさはた 2階 音楽室

■テーマ：『みんなの夢を形にしよう!』

■スケジュール：

1. PM13:00～13:10 (10分)
 - あいさつ
 - 作業内容の説明(メインファシリテーター：今永正文氏)
2. PM13:10～13:30 (20分)
 - 前回のおさらい
 - 「第1回ワークショップのまとめ」の説明・確認
3. PM13:30～14:40 (70分)
 - 作業のポイントの説明(メインファシリテーター：今永正文氏)
 - ワークシートを使って“ちょっと、考えてみよう!”
 - 要望が多かったアイデアについて、「どんなものを、どのくらいの大きさで、どこに」をグループで話し合い、図面に表現します。
 - さらに必要と思うアイデアを、ポストイットに記入し図面に貼ります。
4. PM14:40～14:50 (10分)
 - グループごとに話し合った内容を発表します。
5. PM14:50～15:00 (10分)
 - まとめ、次回の日程、終わりのあいさつ

<メモ>

■次回(第3回W.S.)は、11月19日(土)13:00～15:00の開催です。

(2) ワークショップのまとめ

第2回ワークショップにおいて、参加者が作成した図面や意見などをまとめると次頁のとおりです。

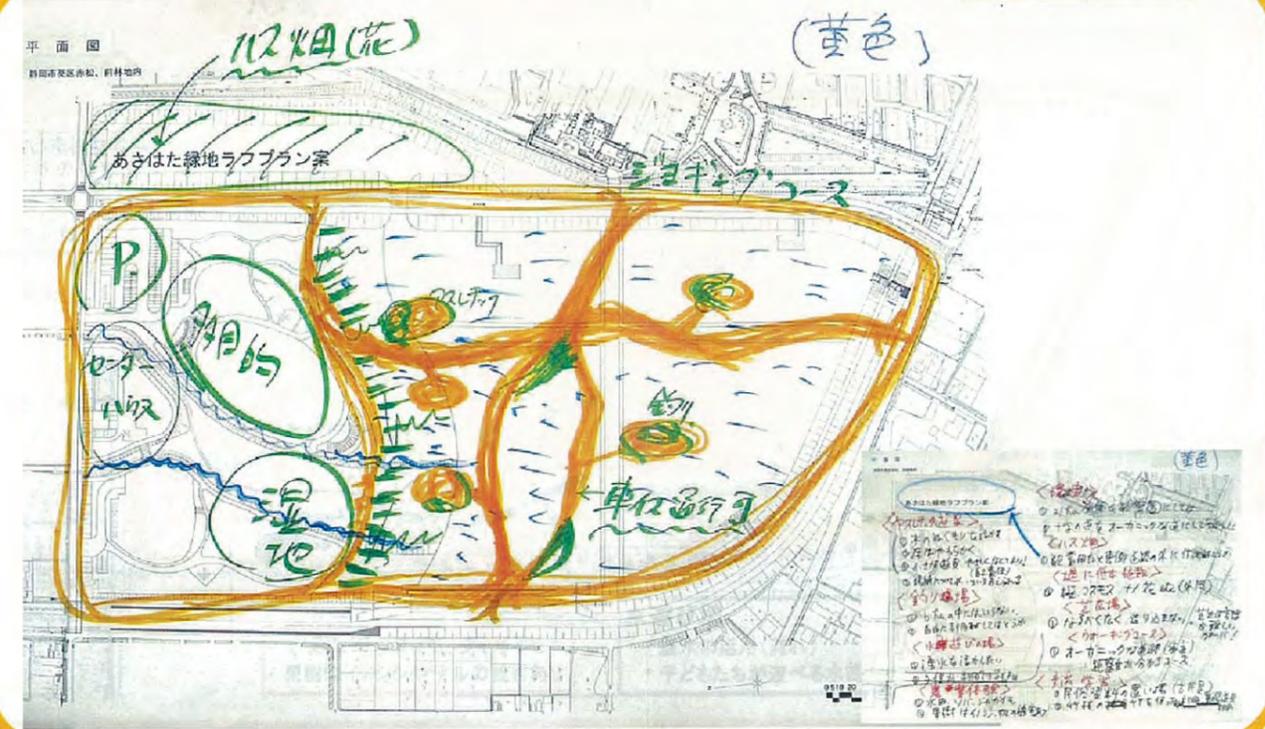
第2回ワークショップ「みんなの夢を形にしよう！」 (各グループのアイデア配置プラン)

“みんなが欲しい”アイデア10個(アスレチック遊具、釣り場、水遊び場(小川)、自然観察園、ハス畑、堤には花や低木を植栽、芝生広場、ウォーキングコース、麻機の歴史展示(資料館)、農業体験)について、『どこに(場所)、どのくらいで(大きさ)、何を(具体的な整備内容)』を各グループで話し合い、配置プランとしてまとめました。

赤グループ



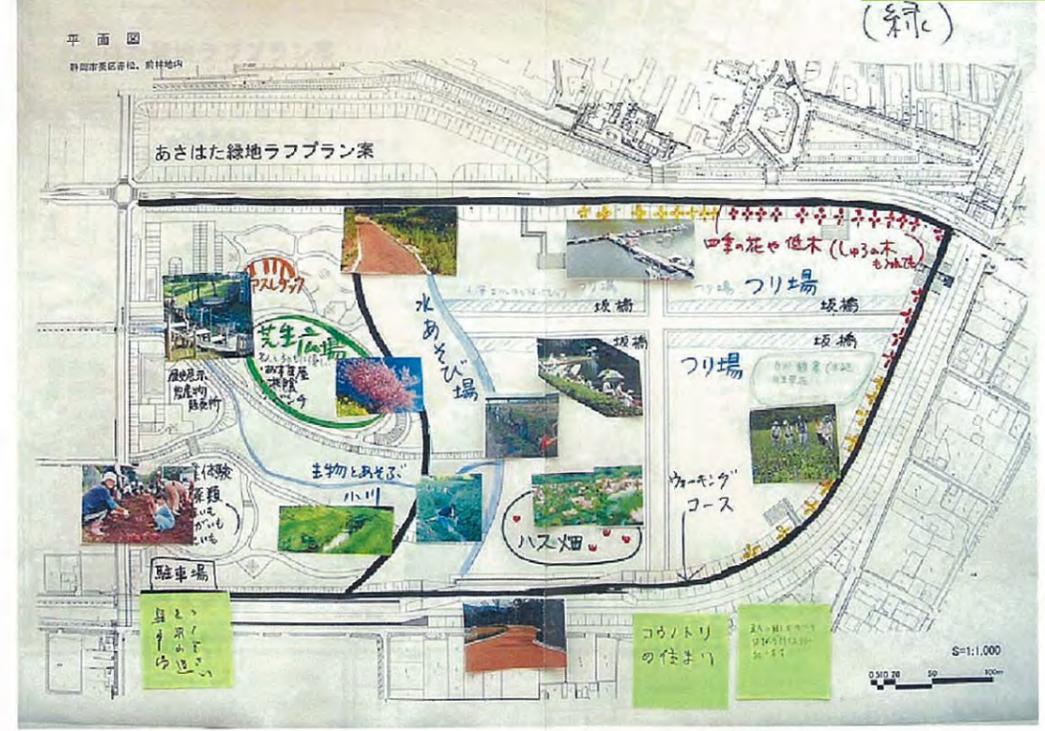
黄グループ



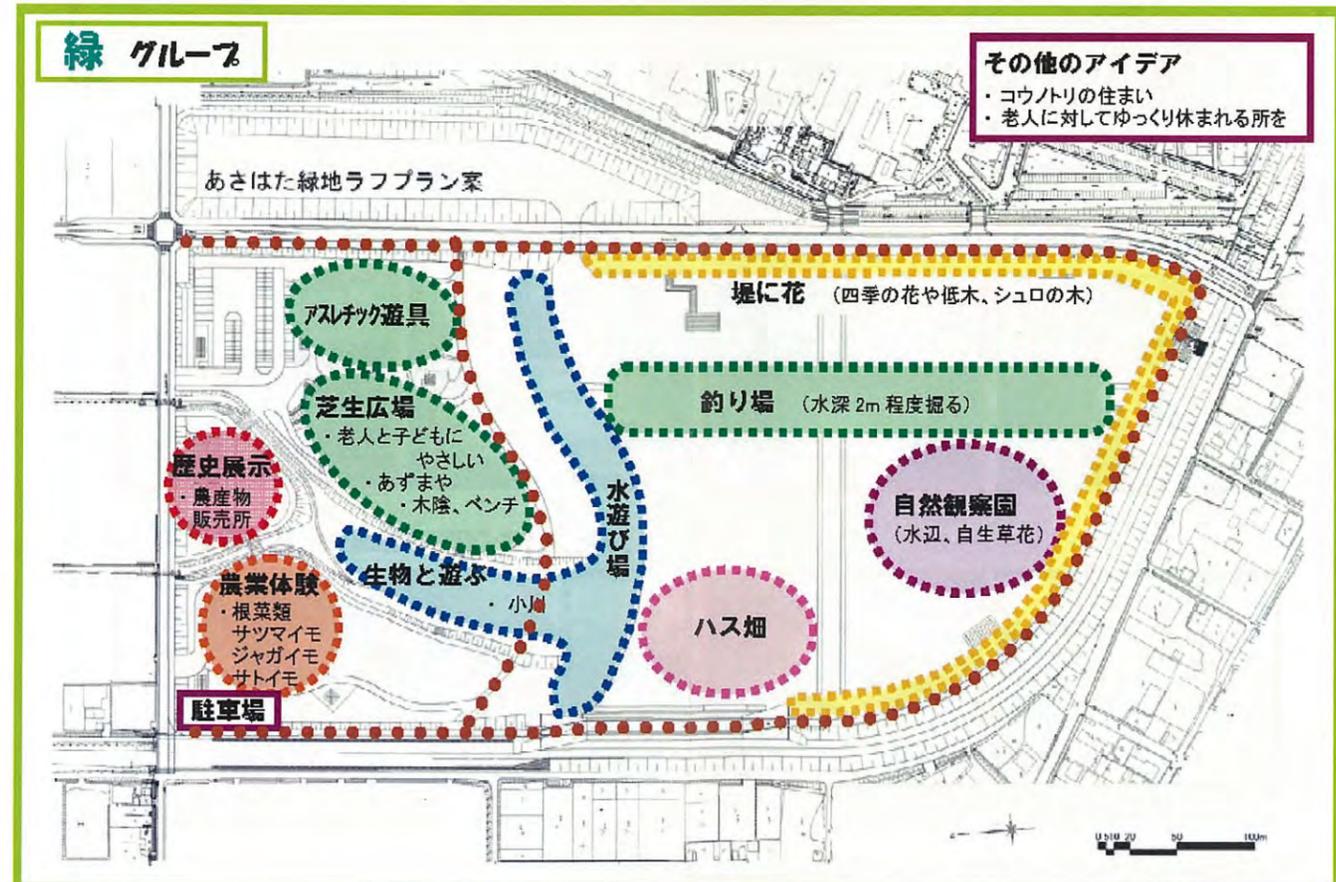
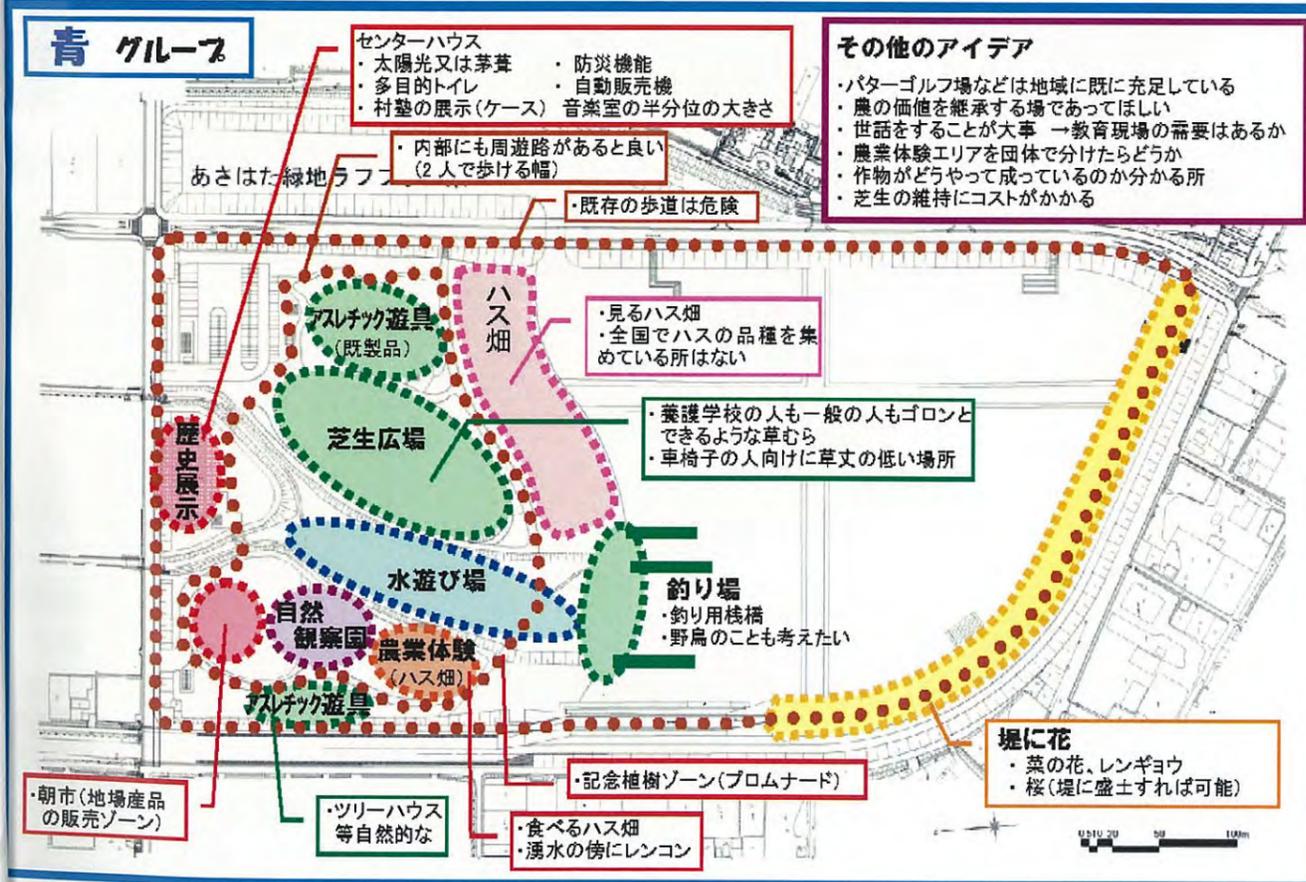
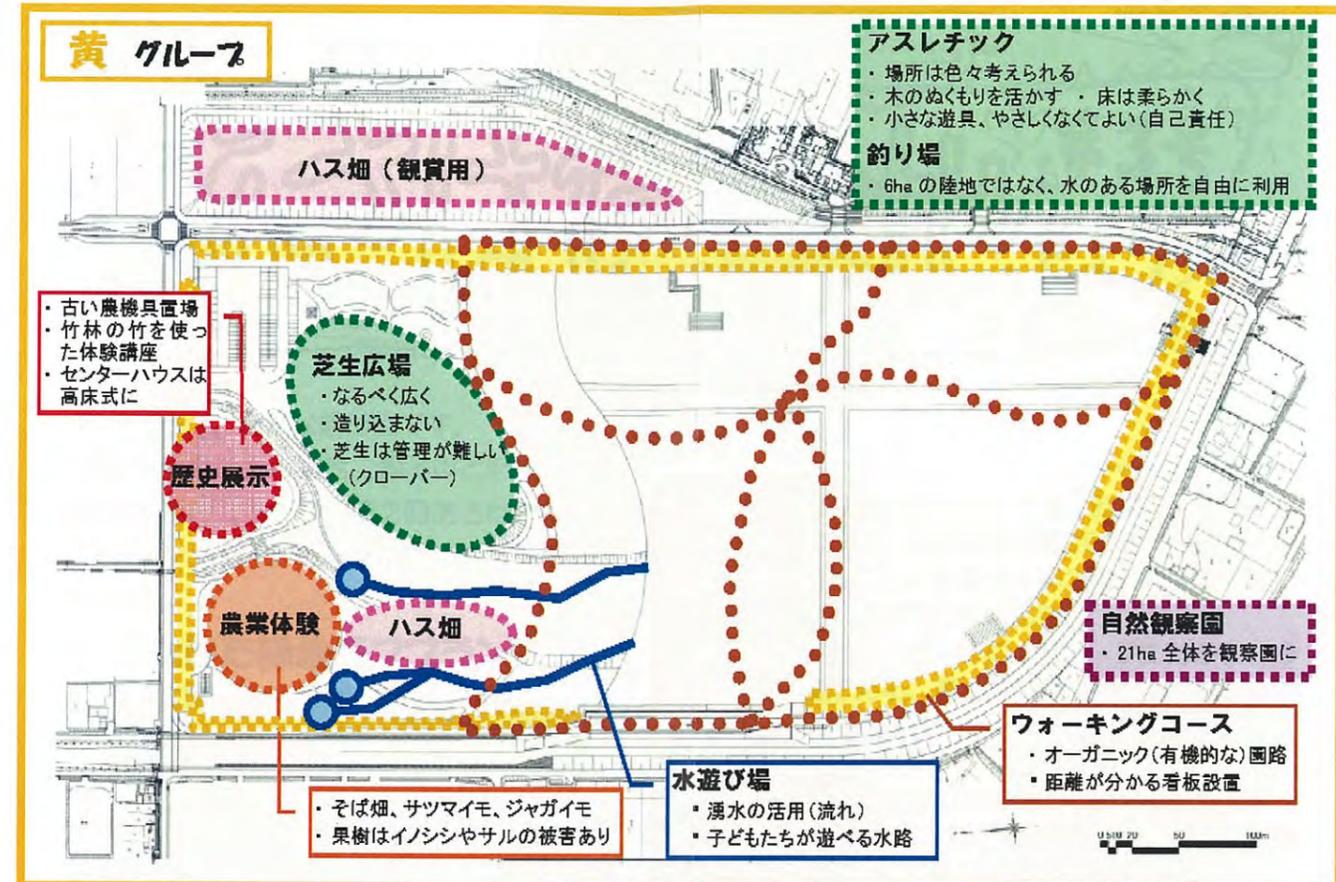
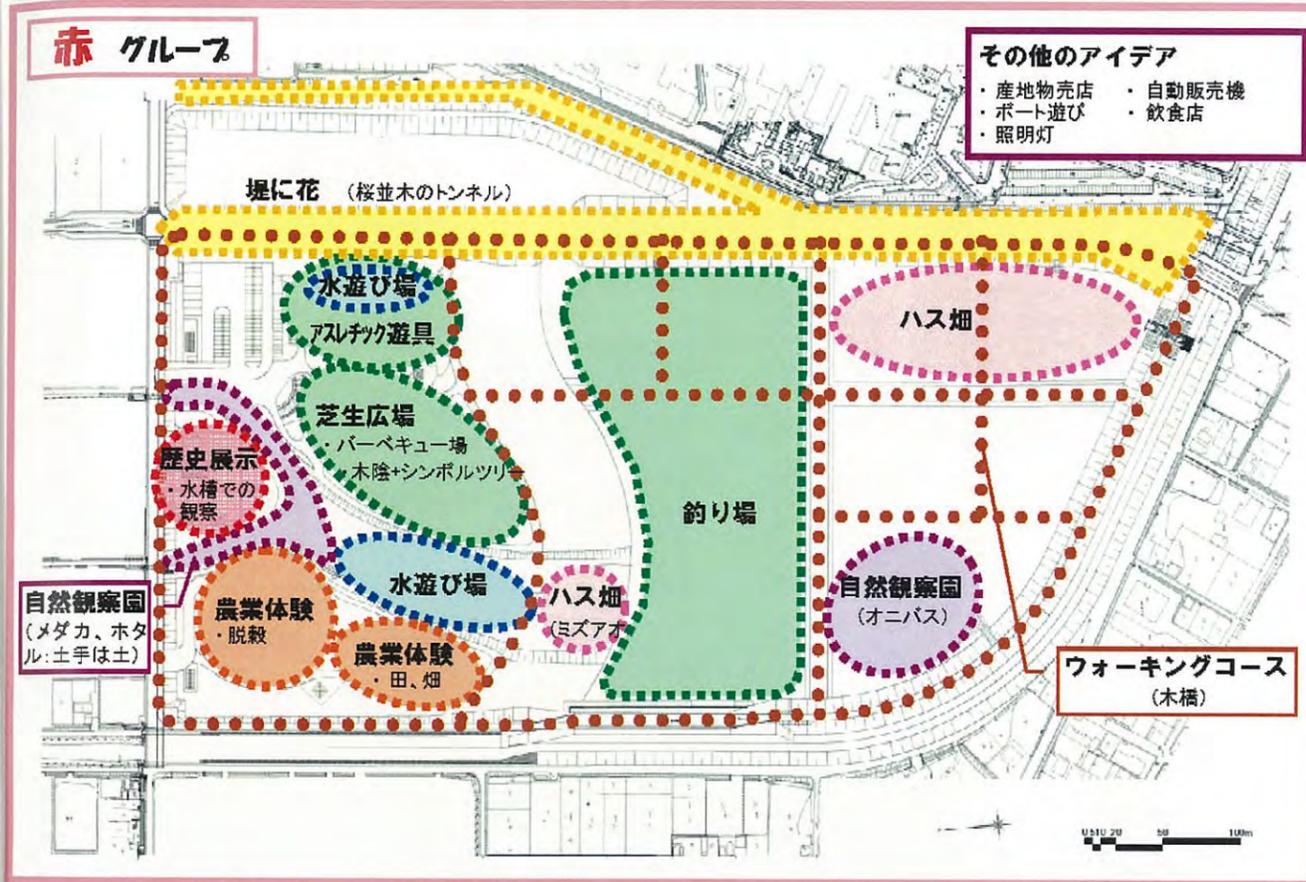
青グループ



緑グループ



第2回ワークショップ「みんなの夢を形にしよう！」のまとめ (各グループが作成したアイデア配置プランを、ゾーニング図としてまとめました。)



(3) ニュースレター

第2回ワークショップの様子を、広く地域住民の方々にお知らせするために作成、配布したニュースレターは次頁のとおりです。

●ワークショップの様子 その2

<「みんなの夢を形にしよう！」グループ全員で話し合いながら図面を描きます。>



参加者全員で記念写真「ハイチーズ」



「静岡市緑地政策課」よりお知らせ

- あさはた緑地の整備は、田辺信宏静岡市長の目指す都市の姿とその実現に向けた様々な取組を示す行政計画である「まちみがき戦略推進プラン」に掲載されています。
- 「まちみがき戦略推進プラン」の冊子は、各区市政情報コーナー、各生涯学習センター、各生涯学習交流館、図書館などで配布しています。ぜひ、ご覧下さい。

次回の第3回ワークショップは、**11月19日(土)**
 午後1時より、「スマイルあさはた」で開催します。
 見学参加はどなたでもできます。「あさはた緑地」に興味のある方は、当日直接会場にお越しください。多くの皆様の見学をお待ちしています。

問合せ先:

静岡市都市局都市計画部
 緑地政策課 担当 清水・森
 Tel 054-221-1432
 Fax 054-221-1294
 E-mail: ryokuchi@city.shizuoka.lg.jp

ワークショップ特集号 その2



こんにちは。自然公園部会です。

今回も前号に引き続き、静岡市と麻機学区自治会連合会主催の『第2回あさはた緑地ワークショップ』の様子についてお知らせします。

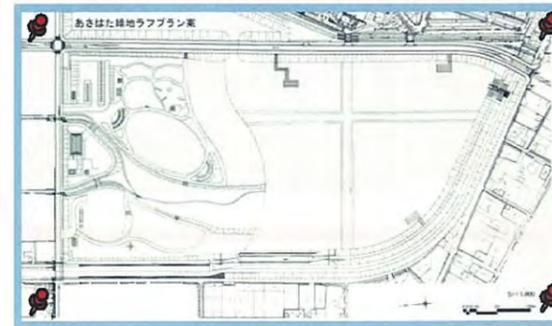
●このような内容でした

平成23年10月22日(土)午後1時より、スマイルあさはたにおいて、麻機学区の住民の皆さん30人に加え、見学参加者2人を迎え「第2回あさはた緑地ワークショップ」が開催されました。

参加者は赤・青・黄・緑の4グループに分かれ、今日の主な作業である、第1回ワークショップで3つ以上のグループから出された“みんなが欲しい”アイデア10個について、『どこに(場所)、どのくらいで(大きさ)、何を(具体的な整備内容)]をグループ全員で話し合い、「あさはた緑地」の図面に描き、最後に各グループの代表者による発表が行われました。

参加者のみなさんはプランナーに変身！
 図面と向き合い考えている姿からは、より良い「あさはた緑地」にするための真剣さが感じられました。

●あさはた緑地ラフプラン



●ワークショップの様子 その1

<「第1回ワークショップ「みんなて夢をかたろう！のまとめ」について隣の人と話し合い確認しました。>



<まず始めに、参加者自身でプランを練ります。>



注)『あさはた緑地』は、麻機遊水地第1工区内に計画されている緑地です。

第2回ワークショップ「みんなの夢を形にしよう！」 (各グループのアイデア配置プラン)



“みんなが欲しい”アイデア10個(アスレチック遊具、釣り場、水遊び場(小川)、自然観察園、ハス畑、堤には花や低木を植栽、芝生広場、ウォーキングコース、麻機の歴史展示(資料館)、農業体験)について、『どこに(場所)、どのくらいで(大きさ)、何を(具体的な整備内容)』を各グループで話し合い、配置プランとしてまとめました。

赤 グループ

あさはた緑地ラフプラン案

木陰 ナシンホール ツリー

飲食店 BBQ 照明 照明灯

自然観察 オーパス

体験 田畑

ウォーキング

水遊び場

自転車 はんばいさ

子ども病院の桜とつながった、桜の並木をつくりたい!

黄 グループ

あさはた緑地ラフプラン案

112畑(花)

ウォーキングコース

目的

釣り場

車は通行可

直線ではなく、曲がりくねった園路を!

青 グループ

あさはた緑地ラフプラン案

内部にも風通しがいいところがある

既存の歩道は危険

色んなハスの花を見ることができるところを!

色んなハスの花を見ることができるところを!

緑 グループ

あさはた緑地ラフプラン案

水遊び場

釣り場

ウォーキングコース

ハス畑

水辺の園路沿いには、板橋でできた釣り場が欲しい!

4. 第3回ワークショップ

第3回ワークショップの流れをはじめ、ワークショップのまとめ、地域に回覧したニュースレターをまとめます。

(1) ワークショップ次第

第3回ワークショップは、次頁に示す次第にもとづいて行いました。

あさはた緑地第3回ワークショップ

< 次 第 >

■日 時：平成23年11月19日(土) 午後1時～3時(2時間)

■場 所：スマイルあさはた 3階 33会議室

■テーマ：『いよいよ決定！みんなの夢プラン』

～基本計画のための提言案づくり～

■スケジュール：

1. PM13:00～13:20 (20分)
『オリエンテーション』
 - あいさつ
 - 前回のおさらい(緑地政策課)
 - 「第2回ワークショップのまとめ」の説明・確認
(ファシリテーター：総合設計事務所)
 - 作業内容の説明(メインファシリテーター：今永正文氏)
2. PM13:20～14:20 (60分)
『どっちが良いかな？A案・B案』
 - A案、B案について色々な視点から緑地全体の利用の仕方を各自で考えてみる。
 - A案、B案について各グループで話し合い、まとめる作業。
 - 各グループでA案、B案の良いところ、課題などを発表。
 - 各グループの発表についてみんなの意見を聞く。
3. PM14:20～14:40 (20分)
『いよいよ決定！みんなの夢プラン』
 - A案、B案について全員の意見を聞く(旗揚げ方式アンケート)。
(メインファシリテーター：今永正文氏)
 - 参加者代表から、静岡市役所都市計画部理事にワークショップ提案書を手渡す。(セレモニー)
4. PM14:40～14:50 (10分)
『まとめと今後に向けて』
 - まとめ
 - 今後の予定について説明。
5. PM14:50～15:00 (10分)
『クロージング』
 - お疲れさま茶会のご案内(地元静岡茶によるお茶会)
 - 閉会のあいさつ

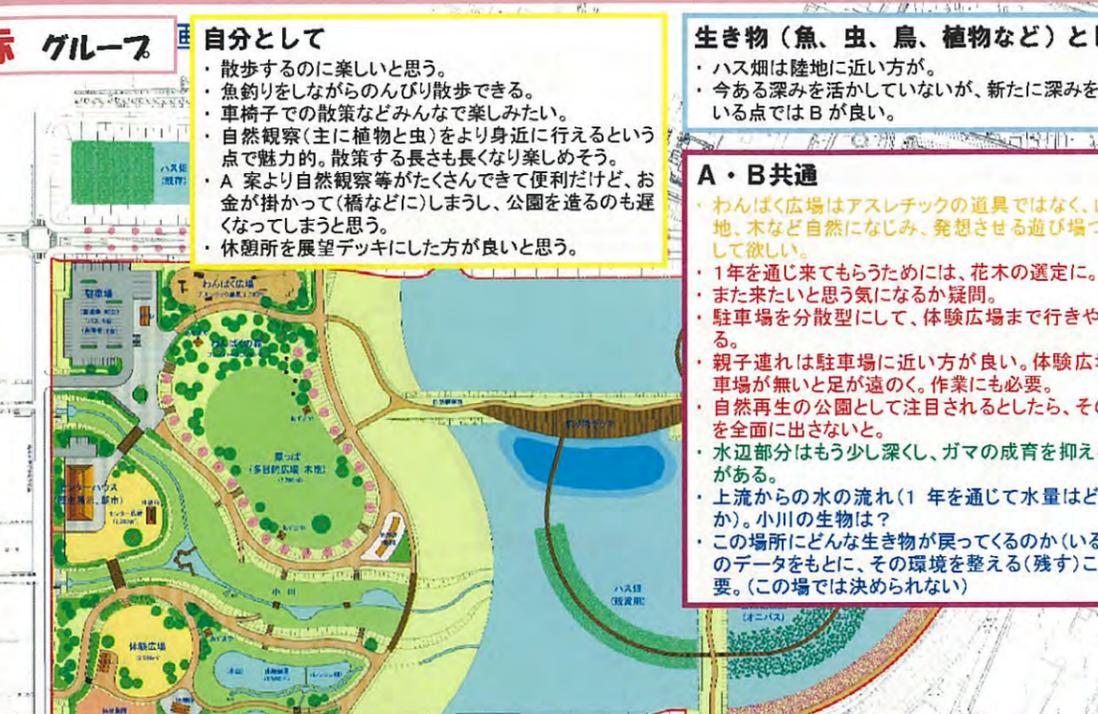
※15:00～16:00頃 お疲れさま茶会(有志、参加費無料)

(2) ワークショップのまとめ

第3回ワークショップにおいて、参加者が作成した図面や意見などをまとめると次頁のとおりです。

第3回ワークショップ『いよいよ決定！みんなの夢プラン』のまとめ (計画平面図 B 案について、各グループの意見をまとめました。)

赤 グループ



自分として

- 散歩するのに楽しいと思う。
- 魚釣りをしながらのんびり散歩できる。
- 車椅子での散策などみんなで楽しみたい。
- 自然観察(主に植物と虫)をより身近に行えるという点で魅力的。散策する長さも長くなり楽しめそう。
- A 案より自然観察等がたくさんできて便利だけど、お金が掛かって(橋などに)ししまうし、公園を造るのも遅くなってしまうと思う。
- 休憩所を展望デッキにした方が良いと思う。

生き物(魚、虫、鳥、植物など)として

- ハス畑は陸地に近い方が。
- 今ある深みを活かしていないが、新たに深みを作っている点では B が良い。

A・B共通

- わんぱく広場はアスレチックの道具ではなく、山や平地、木など自然になじみ、発想させる遊び場づくりにしたい。
- 1年を通じ来てもらうためには、花木の選定に。
- また来たいと思う気になるか疑問。
- 駐車場を分散型にして、体験広場まで行きやすくする。
- 親子連れは駐車場に近い方が良い。体験広場に駐車場が無いと足が遠く。作業にも必要。
- 自然再生の公園として注目されるとしたら、その特色を全面に出さない。
- 水辺部分はもう少し深くし、ガマの成育を抑える必要がある。
- 上流からの水の流れ(1年を通じて水量はどうか)か。小川の生物は?
- この場所にどんな生き物が戻ってくるのか(いるのか)のデータをもとに、その環境を整える(残す)ことが必要。(この場では決められない)

緑地への来訪者(来園者)として

- 来園者の目的によりそれぞれだと思うが、釣り(釣り場が広い)や自然観察(植物)・散策をするなら B 案。
- 公園を利用する人は B 案の方がいいと思う。でも、お金も掛かってしまうし、自然もなくなって、造る(公園)時間も掛かってしまう。

緑地の管理者として

- 草刈やデッキの管理が大変そう。
- 橋などがたくさんあった方が色々な所に行けて、植物なども管理しやすいと思う。

黄 グループ 画平面図 (B案)



自分として

- B 案が良い。(自然な形なので)
- 釣りをする人には広々として良い。
- ウォーキングするのに長い距離の方が良い。
- 自然界に直線はない。
- 水辺を有効に利用している。
- 水辺の利用は B 案が良い。

A・B共通

- 体験農園の利用が楽しみであるが、指導者が必要かもしれない。
- 原っぱをもっと広く。
- 駐車場は大きなイベントの際の事を想定して、もっと広くほしい。
- 電柱を無くしたい。
- 桜並木は園内の道路上を利用して園内に多くほしい。
- 植栽が多く将来が楽しみ。虫捕りができ野鳥が来る。
- 来園した時のことを考えると駐車場の位置はなるべく中心部が良い。車の台数も多くして欲しい。
- 釣りデッキ部のみで釣りを可能にするのか。
- 駐車場から公園部分へのアプローチは近いが水辺部分へのアプローチが遠い。
- メンテナンスが難しい。植物(水草)が増えて何年ごとに取除かなければならない。
- 麻機に残る民具や道具などの収容施設をセンターハウス内に欲しい。
- 全体の整備(草刈)やメンテナンス(デッキ)等が大切。
- 水辺での事故への対策も必要。
- 子どもたちの安全面からは木道は危険がある。
- 安全面や経費面(木道や釣り場の修理など)
- 池が区画されているが、魚は回遊できるのか。
- 生き物や植物については、ここ(第1工区)だけでなく遊水池全体の200haの中で考える必要があるのではないかと。他の所の情報が無い。

生き物(魚、虫、鳥、植物など)として

- 水辺内の園路は、もっと曲がっていてもよい。
- 鳥にとっては植物がある方が昆虫や魚がエサとなる。
- 植物(水草)が多ければ魚が増える。
- 自分がもし鳥だったら B 案の池に飛んでいきたい。
- B 案の方が、色々変化があって良い。釣りも良い。

緑地への来訪者(来園者)として

- 遊水池部分を含め、さまざまに楽しめることを全体を使って企画した方が良い。
- 「静岡に、こんな楽しい自然再生園があったよ」という口コミ効果
- 歩いて楽しいのは曲線路である。歩いていく過程で刻々と景観が変化する。
- 野鳥観察のためには、B 案のデッキが有効。
- 県外からの来客に、季節の花(桜・モミジ・ナンジャモンジャ)が楽しめる森を造る。
- B 案の方が道路の変化があって良い。

緑地の管理者として

- 木道のメンテナンスに費用が掛かる。
- 木道は危険である。
- 自然な状態を維持するのが管理者の仕事だとしたら、オーガニックな形態の観察路を維持すべきである。

青 グループ 画平面



自分として

- オニバスとハスと一緒に見れる。
- 釣り場デッキがとっても楽しそう。
- 釣り人口が多いのか。
- トイレ、水飲み場がどの程度あるのか。
- 木道があって周遊できるのがよい。
- A 案のような観察デッキを作ったらどうか。
- 池内の木道が良い。
- 釣り場デッキが広い。

生き物(魚、虫、鳥、植物など)として

- 釣りデッキは1箇所が良い。
- 魚のためには深みが多くあった方がよい。

A・B共通

- センターハウス周辺に、即売所+加工場+農村レストランが欲しい。(地域活性化のため)
- 木の種類を多く。
- 水の入れ替えができるのか。(現在水が臭いといわれている)一連通管を増やす。
- 鳥の巣箱をわんぱくの森に設置してもいいのでは。
- あずまやがもう少しほしい。(木陰が十分にあればよい)
- 2箇所のトイレの真ん中にもう1箇所トイレが欲しい。
- 原っぱにもう1箇所休憩所が欲しい。
- トイレをもう少し多く。手洗い場も欲しい。
- 体験農園の倉庫が欲しい。
- どちらでも管理は行政でできる。管理を地元の皆さんがどう協力していくか体制づくりがポイント
- ホトケドジョウが樋橋川にいる。
- 樋橋川の水を入れては。
- 鳥の目線で考えたい。

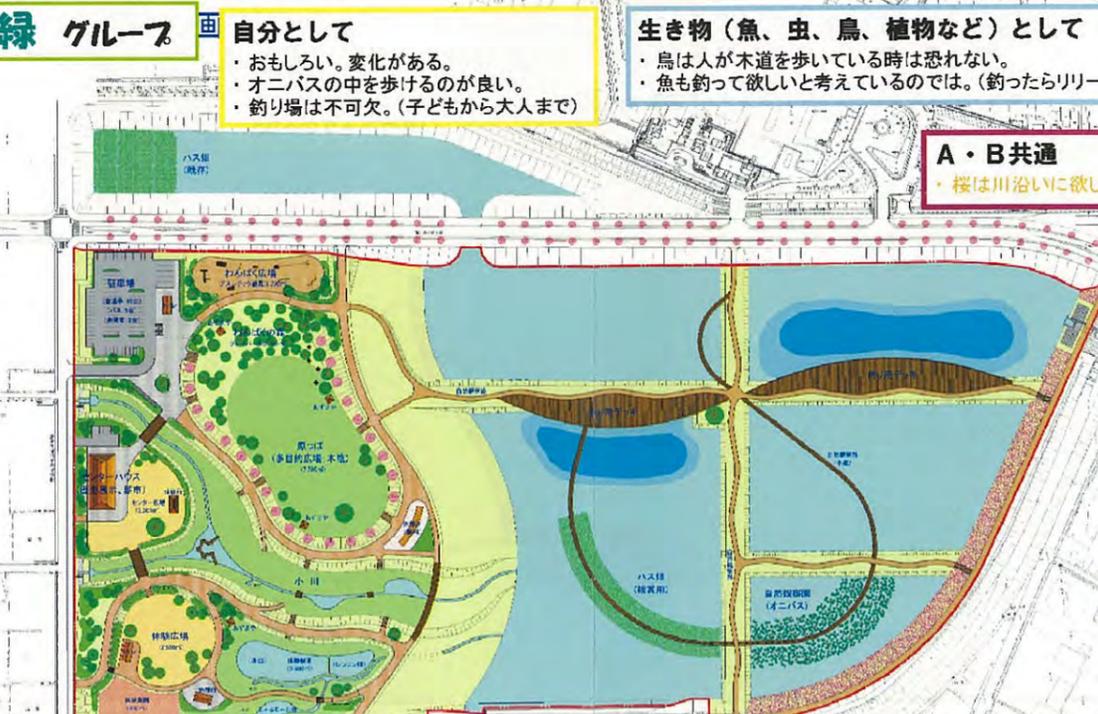
緑地への来訪者(来園者)として

- ルアー釣りの人には釣りデッキはいらないのでは。
- 水の中をのぞける透明の板がほしい。
- 自然再生を実感できそう。
- 放水池全体を自然再生という点で実感できる。自然散策に良い。
- 野鳥観察小屋があると良い。
- 散策エリアが広がり良い。

緑地の管理者として

- 管理する場所が広範囲にわたるので管理面で大変。
- A 案に比べ、デッキや木道が多く設置されるため、設置コストや修繕する可能性出てくる。
- 釣り場デッキが広範囲で遠い場所にもあるため、事故がもし起こった場合どこまで対応できるか。

緑 グループ 画



自分として

- おもしろい。変化がある。
- オニバスの中を歩けるのが良い。
- 釣り場は不可欠。(子どもから大人まで)

生き物(魚、虫、鳥、植物など)として

- 鳥は人が木道を歩いている時は恐れない。
- 魚も釣って欲しいと考えているのでは。(釣ったらリリースする)

A・B共通

- 桜は川沿いに欲しい。

緑地への来訪者(来園者)として

- 休憩、展望。遠くから来る人は釣りをしない。
- 曲がった木道が面白味。変化が多い。
- 駐車場をもう1箇所

緑地の管理者として

- 安全性の高い公園。

第3回ワークショップ「いよいよ決定！みんなの夢プラン」のまとめ (計画平面図 A 案について、各グループの意見をまとめました。)

赤 グループ 自分として

- ・ A 案のように自然をそのまま残した方が良いと思う。
- ・ A 案は自然をそのまま残して、釣り場を作りたいと思いました。

生き物（魚、虫、鳥、植物など）として

- ・ B 案は橋や釣り用デッキで場所をとってしまうから、生き物がいる場所が少なくなってしまうから A 案が良い。
- ・ A 案は魚や植物など、いる場所がたくさんできる。
- ・ より自然な形で鳥が生息できる点では、人はあまり近づかない A 案が望ましいのかもしれない。B 案ほどの程度異なるのかよく分からない。(そのあたりの説明がほしい)
- ・ 池の水が保全されやすいと思う。
- ・ 鳥や魚を自然と生かしていくためには、多少は人の行動範囲を狭くする必要がある。
- ・ 魚のためにはもっと深みがほしい。

緑地の管理者として

- ・ どちらのほうが管理(雑草、ごみ...)が楽なのか。
- ・ コスト面でも安価の方がよいだろう。
- ・ A 案の方が管理が楽でコストが安い。



黄 グループ 自分として

- ・ ジョギングをするのに直線路はつまらない。

生き物（魚、虫、鳥、植物など）として

- ・ 自分が鳥だったら、多分 A 案なら舞い降りない。
- ・ 釣り場は限定する。
- ・ 生き物に関しては、人間が踏み込まない方が自然である。

緑地への来訪者（来園者）として

- ・ わざわざ遠方から「面白みの無い」散歩路来ない。
- ・ A 案のように展望デッキのある方が来訪者は楽しめる。

緑地の管理者として

- ・ 管理としては A 案の方が良いと思う。
- ・ 面白みの無い(直線路)職場で働きたくない。



青 グループ 画平面図 (A 案)

生き物（魚、虫、鳥、植物など）として

- ・ 水面が広く鳥も安心してられる。
- ・ 釣り場が少ない方が野鳥のためには良い。
- ・ 現道路以外の工作物で環境汚染が少し心配。
- ・ B 案に比べ現在の池を自然に活用しているため生き物にやさしい?

緑地への来訪者（来園者）として

- ・ B 案は釣り用デッキがじゃまになり、野鳥がまじかに見ることができないのでは。

緑地の管理者として

- ・ 釣り場に目が届きやすい。
- ・ 水面へ立入りが少ないので安全です。



緑 グループ 自分として

- ・ 全体としてあっさり案が良い。
- ・ レイアウトがすっきりしている。
- ・ 変化では B 案が良いが、釣り場が多く水を汚す原因となるので A 案が良い。

生き物（魚、虫、鳥、植物など）として

- ・ 野鳥が棲みやすい。
- ・ 水鳥のためには A 案が良い。
- ・ B 案はデッキが多すぎるので A 案。
- ・ 人が入りにくいスペースが多い方が良い。
- ・ 鳥は 10m 近づくと逃げる。木道は少ない方が良い。

緑地への来訪者（来園者）として

- ・ 木道を歩かせたくない。(水辺部に人を入れたくない)
- ・ 鳥を見た。
- ・ あっさり。
- ・ 展望デッキが良い。(高いデッキに)

緑地の管理者として

- ・ ハスやオニバスは管理できない。
- ・ A 案はシンプルで管理しやすい。歩く人と釣り人との接触が無い。
- ・ 安全、ゴミなどシンプルな案が良い。
- ・ あっさりしている。



(3) ニュースレター

第3回ワークショップの様子を、広く地域住民の方々にお知らせするために作成、配布したニュースレターは次頁のとおりです。

ワークショップ特集号 その3



ワークショップの様子

A・B案の選択 (A案は緑色、B案は黄色の用紙を掲げてください)



B案を「提案者」として市に託しました。



旗揚げアンケートの結果 B案に決定！
(A案6人、B案16人、棄権3人でした。)

参加者全員で記念写真「ハイチーズ」



閉会后、お疲れさまお茶会を開催



「あさはた緑地」の整備に関して (全体での意見交換で、次のような意見も出されました。)

- 駐車場について (1箇所ではなく複数箇所設置して欲しいなど。)
 - 水の確保について (現在の水路は時期により枯れることがある。計画地周辺の川や自噴箇所の調査、現在の水路の流水量の調査等を行う必要がある。)
 - 生き物のデータについて (計画地の生き物のデータが示されていないので、生き物の視点で計画案の可否が決められない。)
 - ゴミについて (あさはた緑地完成後、人が訪れることによるゴミ対策を検討する必要がある。)
 - 計画地近隣の生産者の方々との関係について (計画地に隣接して田・畑があり、農作物を生産している。計画地の維持管理方法による、隣接する田・畑への影響を考慮して欲しい。)
 - 遊歩道には健康器具などの配置を考えて欲しい。
- A案・B案の選択は、現時点の特徴的配置ということでの選択を。

今後の予定(静岡市緑地政策課より)

皆様のご協力のもと、全部で3回のワークショップが終わり、くさんのご意見と夢のあるプランをいただくことができました。ありがとうございました。

今後は、ご提案いただいたプランをもとに、さらに詳細な計画事業費などを検討し基本設計をまとめ、市民の皆様から広く意見(パブリックコメント)を受けた後、平成25年度に実施設計、平成26年度に第1期工事着手を予定しています。



問合せ先:
静岡市都市局都市計画部
緑地政策課 担当 清水・森
Tel 054-221-1432
Fax 054-221-1294
E-mail: ryokuchi@city.shizuoka.lg.jp

こんにちは。自然公園部会です。

今回も前号に引き続き、静岡市と麻機学区自治会連合会主催の『第3回あさはた緑地ワークショップ』の様子についてお知らせします。

●このような内容でした

平成23年11月19日(土)午後1時より、スマイルあさはたにおいて、麻機学区の住民の皆さん25人に加え、見学者1人を迎え「第3回あさはた緑地ワークショップ」が開催されました。

はじめに、第2回ワークショップで各グループが提案した配置プランをもとに、市が作成した図面2案(A案・B案)の説明がありました。

次に、この2案について色々な視点から考え、グループごとに話し合いをしました。そして、それぞれの案について良い点や課題などを各グループの代表者が発表をし、全体での意見交換が行われました。

その後、『いよいよ決定!みんなの夢プラン』として、A案・B案のどちらかに方向性を決めるということで、参加者全員で旗揚げアンケートをしました。結果は・・・裏面に。

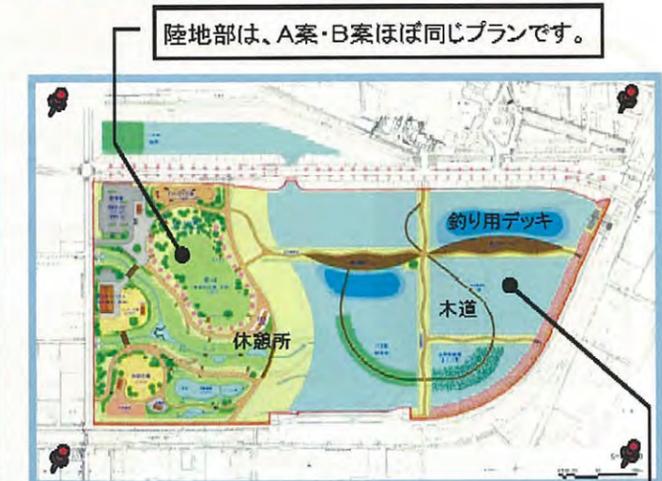
最後に、アンケートで決まった案の図面を参加者の代表が、「ワークショップ提案書」として静岡市都市計画部理事に手渡し、みんなの夢を静岡市に託しました。

●あさはた緑地計画平面図A案



A案の水辺部は、野鳥などの生き物が静かに過ごせるように、釣り用デッキや観賞用デッキは水際だけに設け、既存の通路を観察路として利用するプランです。

●あさはた緑地計画平面図B案



B案の水辺部は、水辺の生物を観察しながら楽しく散歩できるように曲がりくねった木道を設け、釣り用デッキを2箇所水際の中央に設けたプランです。

注)『あさはた緑地』は、麻機遊水地第1工区内に計画されている緑地です。

第3回ワークショップ「いよいよ決定！みんなの夢プラン」 旗揚げアンケートの結果、B案がワークショップの提案書に！

第2回「あさはた緑地」ワークショップでグループごとにまとめたアイデア配置プランをもとに作成された、『あさはた緑地計画平面図 A案・B案』について、4つの視点(自分として、緑地への来訪者(来園者)として、生き物(魚、虫、鳥、植物など)として、緑地の管理者として)から、良いところや課題などについて話し合いました。下図は、計画平面図B案について各グループの意見をまとめたものです。

赤 グループ

自分として

- ・散歩するのを楽しんでいる。
- ・魚釣りをしながらのんびり散歩できる。
- ・車椅子での散歩などみんなで楽しみたい。
- ・自然観察(主に植物と虫)をより身近に行えるという点で魅力的。散歩する長さも長くなり楽しめそう。
- ・A案より自然観察等がたくさんできて便利だけど、お金が掛かって(橋などに)しましうし、公園を造るのも遅くなってしまうと思う。
- ・休憩所を展望デッキにした方が良くと思う。

緑地への来訪者(来園者)として

- ・来園者の目的によりそれぞれだと思うが、釣り(釣り場が広い)や自然観察(植物)・散歩をするならB案。
- ・公園を利用する人はB案の方がいいと思う。でも、お金も掛かってしましうし、自然もなくなって、造る(公園)時間も掛かってしましうし。

生き物(魚、虫、鳥、植物など)として

- ・ハス畑は陸地に近い方が。
- ・今ある深みを活かしていないが、新たに深みを作っている点ではBが良い。

緑地の管理者として

- ・草刈やデッキの管理が大変そう。
- ・橋などがたくさんあった方が色々な所に行けて、植物なども管理しやすいと思う。

A・B共通

- ・わんぱく広場はアスレチックの道具ではなく、山や平地、木など自然になじみ、発想させる遊び場づくりにして欲しい。
- ・1年を通じてもらうためには、花木の選定に。
- ・また来たいと思う気になるか疑問。
- ・駐車場を分散型にして、体験広場まで行きやすくする。
- ・親子連れは駐車場に近い方が良い。体験広場に駐車場が無いと足が遠く。作業にも必要。
- ・自然再生の公園として注目されるとしたら、その特色を全面に出さないこと。
- ・上流からの水の流れ(1年を通じて水量はどうなのか)。小川の生物は？
- ・この場所にどんな生き物が戻ってくるのか(いるのか)のデータをもとに、その環境を整える(残す)ことが必要。(この場では決められない)
- ・水辺部分はもう少し深くし、ガマの生育を抑える必要がある。



黄 グループ

自分として

- ・B案が良い。(自然な形なので)
- ・釣りをする人には広々として良い。
- ・ウォーキングするのに長い距離の方が良い。
- ・自然界に直線は無い。
- ・水辺を有効に利用している。
- ・水辺の利用はB案が良い。

緑地への来訪者(来園者)として

- ・遊水池部分を含め、さまざまに楽しめることを全体を使って企画した方が良い。
- ・「静岡に、こんな楽しい自然再生園があったよ」という口コミ効果
- ・歩いて楽しいのは曲線路である。歩いていく過程で刻々と景観が変化する。
- ・野鳥観察のためには、B案のデッキが有効。
- ・県外からの来客に、季節の花(桜・モミジ・ナンジャマンジャ)が楽しめる森を造る。
- ・B案の方が道路の変化があって良い。

生き物(魚、虫、鳥、植物など)として

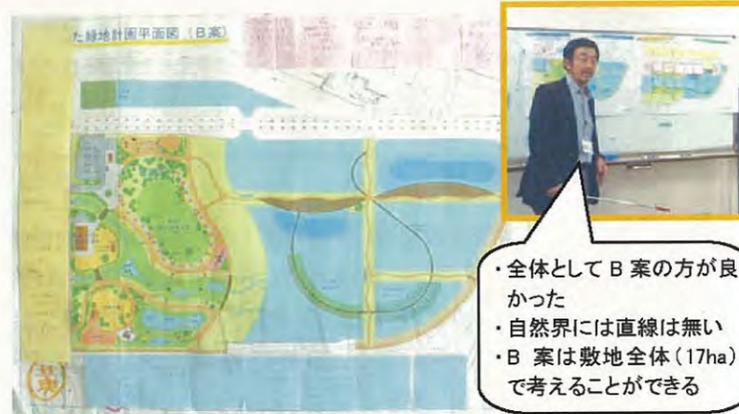
- ・水辺内の園路は、もっと曲がっていてもよい。
- ・鳥にとっては植物がある方が昆虫や魚がエサとなる。
- ・植物(水草)が多ければ魚が増える。
- ・自分がもし鳥だったらB案の池に飛んできた。
- ・B案の方が、色々変化があって良い。釣りも良い。

緑地の管理者として

- ・木道のメンテナンスに費用が掛かる。
- ・木道は危険である。
- ・自然な状態を維持するのが管理者の仕事だとしたら、オーガニックな形態の観察路を維持すべきである。

A・B共通

- ・体験農園の利用が楽しみであるが、指導者が必要かもしれない。
- ・原っぱをもっと広く。
- ・駐車場は大きなイベントの際の事を想定して、もっと広くほしい。
- ・電柱を無くしたい。
- ・桜並木は園内の通路を利用して園内に多くほしい。
- ・植栽が多く将来が楽しみ。虫捕りができ野鳥が来る。
- ・来園した時のことを考えると駐車場の位置はなるべく中心部が良い。車の台数も多くなりたい。
- ・釣りデッキ部のみで釣りを可能にするのか。
- ・駐車場から公園部分へのアプローチは近いが水辺部分へのアプローチが遠い。
- ・池が区画されているが、魚は回避できるのか。
- ・生き物や植物については、ここ(第1工区)だけでなく遊水池全体の200haの中で考える必要があるのではないか。他の所の情報が無い。
- ・メンテナンスが難しい。植物(水草)が増えて何年かごとに取り除かなければならない。
- ・麻機に残る民具や道具などの収容施設をセンターハウス内に欲しい。
- ・全体の整備(草刈)やメンテナンス(デッキ)等が大切。
- ・水辺での事故への対策も必要。
- ・子どもたちの安全面からは木道は危険がある。
- ・安全面や経費面(木道や釣り場の修理など)



青 グループ

自分として

- ・オニバスとハスと一緒に見れる。
- ・釣り場デッキがとって楽しそう。
- ・釣り人口が多いのか。
- ・トイレ、水飲み場がどの程度あるのか。
- ・木道があって周遊できるのがよい。
- ・A案のような観察デッキを作ったらどうか。
- ・池内の木道が良い。
- ・釣り場デッキが広い。

緑地への来訪者(来園者)として

- ・ルアー釣りの人には釣りデッキはいらないのでは。水の中をのぞける透明の板がほしい。
- ・自然再生を実感できそう。
- ・遊水池全体を自然再生という点で実感できる。自然散策に良い。
- ・野鳥観察小屋があると良い。
- ・散策エリアが広い。

生き物(魚、虫、鳥、植物など)として

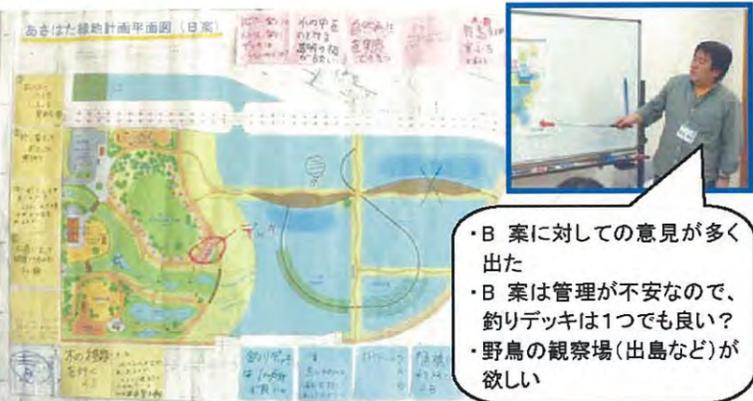
- ・釣りデッキは1箇所が良い。
- ・魚のためには深みが多くあった方がよい。

緑地の管理者として

- ・管理する場所が広範囲にわたるので管理面で大変。
- ・A案に比べ、デッキや木道が多く設置されるため、設置コストや修繕する可能性が出てくる。
- ・釣り場デッキが広範囲で遠い場所にもあるため、事故がもし起こった場合どこまで対応できるか。

A・B共通

- ・センターハウス周辺に、即売所+加工場+農村レストランが欲しい。(地域活性化のため)
- ・木の種類を多く。
- ・水の入替えができるのか。(現在水が臭いといわれている)一連通管を増やす。
- ・鳥の巣箱をわんぱくの森に設置してもいいのでは。
- ・あずまやがもう少しほしい。(木陰が十分にあればよい)
- ・2箇所のトイレの真ん中にもう1箇所トイレが欲しい。
- ・原っぱにもう1箇所休憩所が欲しい。
- ・トイレをもう少し多く。手洗い場も欲しい。
- ・ホトケドジョウが樋橋川にいます。樋橋川の水を入れては。鳥の目線で考えたい。
- ・体験農園の倉庫が欲しい。
- ・どちらでも管理は行政でできる。管理を地元の皆さんがどう協力していくか体制づくりがポイント



緑 グループ

自分として

- ・おもしろい。変化がある。
- ・オニバスの中を歩けるのが良い。
- ・釣り場は不可欠。(子どもから大人まで)

緑地への来訪者(来園者)として

- ・休憩、展望。遠くから来る人は釣りをしない。
- ・曲がった木道が面白い。変化が多い。
- ・駐車場をもう1箇所

生き物(魚、虫、鳥、植物など)として

- ・鳥は人が木道を歩いている時は恐れない。
- ・魚も釣って欲しいと考えているのでは。(釣ったらリリースする)

緑地の管理者として

- ・安全性の高い公園。

A・B共通

- ・桜は川沿いに欲しい。
-

資 料

1. ワークショップ参加者配布資料

「あさはた緑地」ワークショップで参加者に配布した資料をまとめます。

(1) 第1回ワークショップ

第1回ワークショップで配布した資料は次頁のとおりです。

ワークショップの おしらせ

自然公園部会でまとめた、あさはた緑地基本設計

の素案について、麻機学区にお住まいの方々や、小
中学校の生徒さんなどからもご意見をいただき、さ
らに充実した計画にするためにワークショップを開
催します。

詳細は、決まり次第お知らせしますので、ご協力

お願い致します。



麻機区
いいことなんだ！
みんなに知らせよう



みんなは
ウエトラビの
てままだね



自然公園部会員、協議会員募集中!!

私達といっしょに楽しく、麻機の自然再生をしませんか？
巴川流域麻機遊水地自然再生協議会では、自然再生事業の活動に協力していただける協議
会委員の募集を随時しています。参加希望される団体、個人の方は事務局までご連絡下さい。

- 応募資格■
- ①本協議会の設立趣意書、設置要綱、全体構想、実施計画に対し理解していただける方
 - ②現地でいっしょに汗をかいたり、活動内容について知恵を絞っていただける方

作 成：巴川流域麻機遊水地自然再生協議会 自然公園部会
問 合 せ 先：静岡市都市局都市計画部緑地政策課
(事務局) 静岡市葵区追手町5-1 TEL: 054-221-1432 FAX: 054-221-1294
E-mail: ryokuchi@city.shizuoka.lg.jp
ホームページ: <http://www.city.shizuoka.jp/deps/kouen-keikaku/index.html>



こんにちは!! はじめまして、自然公園部会です。

麻機遊水地第1工区内の「あさはた緑地」の整備について、平成21年度に静岡
市より地元説明会が3回ありました。
説明会では自然再生緑地として整備をしていくことに対して様々な意見
が寄せられました。
私たちはそれらの意見をふまえて、たくさんの人達が楽しく利用できかつ
自然とふれあえるような公園にするにはどうしたらよいか話し合いをして
います。
その話し合いの内容について、「あさはた緑地だより」としてみなさんにお
伝えします。今後も自然公園部会の活動を随時お知らせしていきたいと思
いますのでよろしくお願いいたします。



自然公園部会ってなに?!

自然公園部会は、「巴川流域麻機遊水地自然再生協議会」の下部組織で、自然再生を実現させる
ための活動を行う部会です。平成22年8月から、活動を開始しています。
現在は、主な活動として、あさはた緑地の基本設計について意見を出し合っています。平成22
年度は、現地視察を含め、9回の部会を開催しました。部会内で話し合った緑地の計画を、次頁
にまとめています。ご一読ください!
将来的には、あさはた緑地でのレクリエーションや維持管理の活動を企画していけたらいいな
と考えています。部会員は、麻機学区自治会の連長や麻機学区の人達、NPO団体の代表者など
で構成され、会員数は22名です。

巴川流域麻機遊水地自然再生協議会ってなに?!

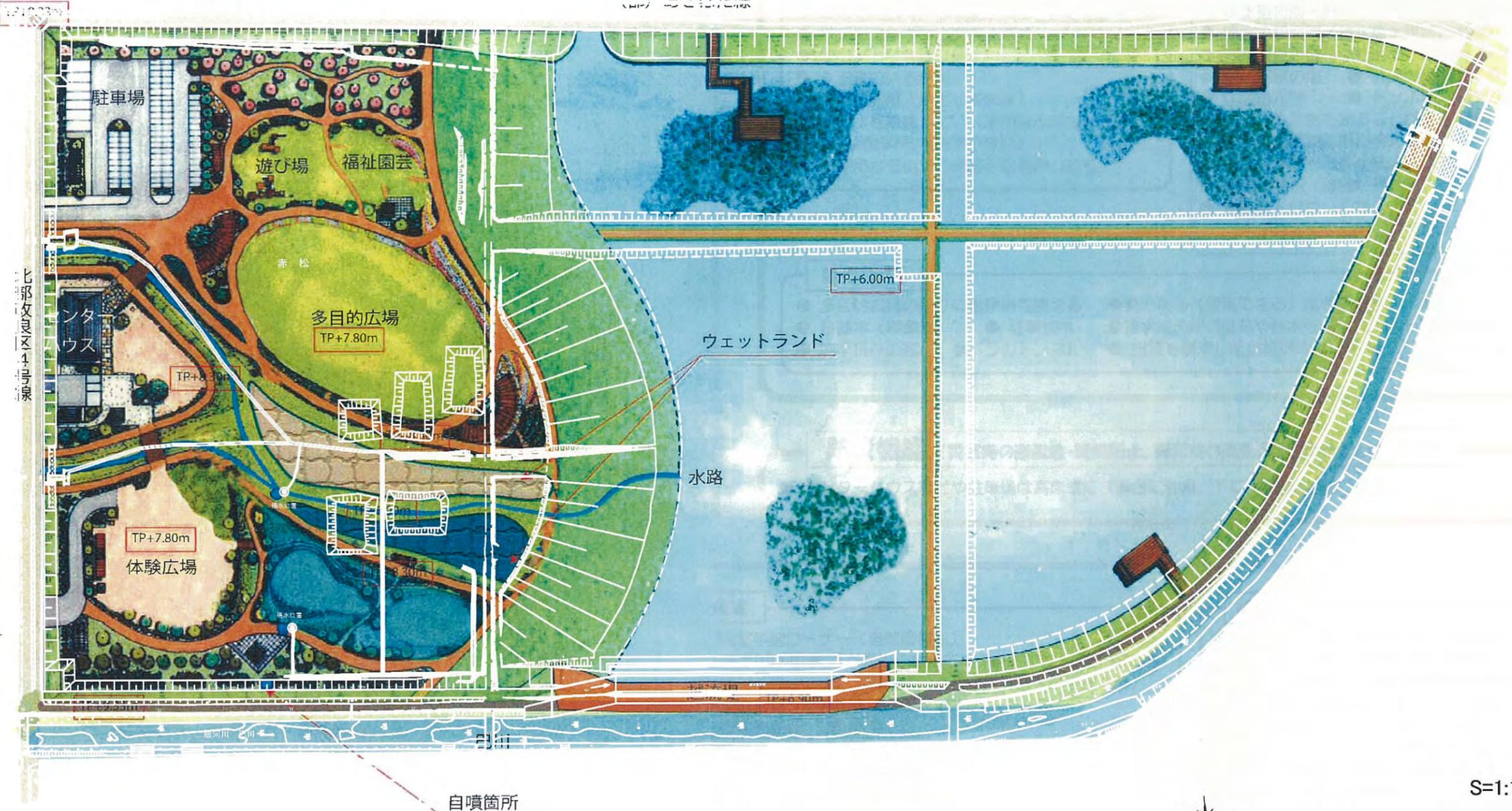
麻機遊水地の整備によって蘇ったたくさんの生物を、守り、増やしていくために、NPO団体や学
識委員、遊水地周辺の人達、国、静岡県、静岡市などによって、構成されている団体です。
平成16年1月に設立されました。詳しくは、パンフレットをご覧ください。
■協議会構成員名簿(平成22年12月1日現在)■
学識委員: 6名 団体委員: 26団体 鶴山中学校/麻機小学校/城北小学校/麻機学区自治会連合会/城北学区連合町内会/千
代田東学区連合町内会/南沼上柴揚げ漁保存会/麻機南中柴揚げ保存会/麻機温泉を保全する会(NPO)/麻機村監/麻機遊水地グ
ランド利用者会議/しずおか環境教育研究会(NPO)/しずおか流域ネットワーク/静岡ロータリークラブ/富士の国・学校ピオ
トープ(NPO)/森づくり愛好会/地域の庭を作る会/独立行政法人国立病院機構静岡てんかん・神経医療センター/静岡県立中
央特別支援学校/静岡県立北特別支援学校/在来種保護再生/ブランドゴルフ/しずおか創造ネット(NPO)/日本へら釣研究
会/駿府静岡歴史楽会/静岡植物研究会 個人委員: 23名 行政機関: 国土交通省/静岡県/静岡市



あさはた緑地ラフプラン案 ver.110224

全体勾配 0.4%

(部) あさはた線



(2) 第2回ワークショップ

第2回ワークショップで配布した資料は次頁のとおりです。

ワークシート

第1回「あさはた緑地」ワークショップで、3つ以上のグループから出されたアイデア10個を「まとめ」と同じ4つに分けました。

それぞれのアイデアについて、規模（大きさ）、設置場所、具体的な整備内容（整備イメージ）をグループ全員で話し合い、「あさはた緑地」の図面に描こう！

レクリエーション(遊びの場)

- アスレチック遊具
- 釣り場
- 水遊び場(小川)

環境

- 自然観察園
- ハス畑
- 堤には花や低木を植栽

レクリエーション(散歩や憩いの場)

- 芝生広場
- ウォーキングコース

交流・学習

- 麻機の歴史展示(資料館)
- 農業体験

その他

上記以外で、あなたが「あさはた緑地」に必要と思うアイデアを、「まとめ」から5つ選んで記入してください。

①

④

②

⑤

③

第1回ワークショップ「みんなで夢をかたろう！」のまとめ (皆さんから出されたアイデアとご意見シートアイデアを、緑地の機能として分類しました。)

レクリエーション(遊びや運動、散歩、休息などさまざまな活動の場)

- 収穫の楽しみを得るためには、実は大変地味な草刈りなど必要なことを体感できる場
- 素足で歩ける公園 ● 星座の見える公園 ● 幅広い年代の人が遊べる公園

遊びの場

- プレイパーク
- フィールドアスレチック
- アスレチック遊具
- ツリーハウス
- 大きい滑り台 ● 木馬 ● 砂場
- スライダー ● 綱渡り ● 木製遊具
- ブランコ(10人乗り)
- ジェットコースター ● 観覧車
- ローラースケート(ヒーリーズ)場
- 展望台(やぐら) ● ボート用水面
- 釣り場 ● 水遊び場(川)

軽運動や健康増進の場

- ジョギングコース
- サイクリングロード
- 高齢者が集える広場(ゲートボール)
- グラウンドゴルフができる広場

役に立つ施設

- 自動販売機
- 飲食店 ● 駄菓子屋
- 朝市(農作物の直売所) ● 売店
- 多目的トイレ ● バイオトイレ
- 手洗い場(水飲み) ● 駐輪場
- 夜間照明灯 ● ソーラー発電
- 農作業後使えるシャワー
- 草刈ステーション
- ログハウス
- 多くの入口
- 風力発電
- 駐車場は多く(広い駐車場)

全ての人が使いやすい

- 障害を持った人も安心して遊べる憩いの場
- 全ての施設をユニバーサルデザインで

散歩や憩いの場

- 遊歩道(散策道) ● ウォーキングコース
- 湿地の遊歩道 ● 自然観察路
- 木のチップ舗装、土の道、木道(湿地内)
- 芝生広場
- 多目的広場はもっと広く(様々なイベントに利用できるように)
- 木陰ベンチ ● 藤棚
- 多目的広場に木陰を(大きな木を植える)
- バーベキュー場
- 庭園 ● 花の広場 ● お花畑(花壇)
- 小動物の飼育場(触れ合える場)
- ドッグラン
- 写真撮影ポイント

交流・学習(地域のイベントや文化・観光の拠点、地域交流の核となる場)

- 市内の色々な所から、たくさんの方が来る(市外からも、第二東名)
- 麻機だけでなく、市全体で誇れる公園にしたい
- 子どもが地域のじっちゃん、ばっちゃんに色々教わる場
- 史跡めぐりのためのガイドの育成
- ホタル祭りができるよう、地域(学校)が協力してホタルを育て地域活性化
- 地域の活性化に役立つか考えたい ● 総面積200haの中の公園としての機能を考えたい
- センターハウスの使用目的(近隣施設との連携)、体験広場の必要性(多目的広場との関連)、福祉園芸とは(期待するもの)

交流施設

- イベントステージ ● 体験広場 ● 朝市広場 ● 雨天でも集える場
- 花壇で育てたハーブティーの提供

学習の場

- 麻機の自然学習コーナー(自然図書館)
- 子ども博士(小・中学生)が先生になっての「自然観察」・「自然教室」
- 魚の水槽づくり ● 食育(自分たちで作ったものを食べる)
- 地元の食材を使った料理体験(調理室)
- 草木の標本を展示 ● 水車
- 旧東村の郷倉を移築(機材収納として)
- 麻機の歴史展示(歴史資料館)
- 昔の道具を使って昭和の暮らしを体験
- 古い農機具等を集めて展示(動態展示)
- 大案内板(旧麻機地区の名所旧跡を網羅)

イベント

- どんろ遊び ● 木登り ● 工作教室
- 火遊び ● 水遊び ● 虫捕り
- 釣り(魚とり) ● 草木を使った遊び
- 農業体験(田んぼ、畑、レンコン畑)
- どんろサッカー ● ミニコンサート
- 収穫祭 ● 案山子まつり
- 機織、竹かご・縄づくりなどの体験
- そば・うどん打ち体験
- どんど焼き、餅つき大会、連こい飾り、風車の祭典、ウォークラリー

環境(生物生息の場・自然とのふれあいの場、緑化)

- きれいな川のある公園 ● 来た時よりも美しくなる公園
- 自然第一の質素な公園に(色々な施設や遊具をつくらない)
- 水への安全対策は(柵・フェンスがあるとどうも)
- 緑地の維持管理を検討する必要がある。 ● 「10万年後」に責任をもてるきっかけとなる要素
- 緑いっぱい、花いっぱいの公園 ● 桜や草花が咲き乱れる公園
- モミジやカエデ、イチョウなどの葉や、どんぐり、松ぼっくりなどの実が拾える公園

生物生息の場

- ホトケドジョウやホタルが生息できる小川
- 田んぼに生育する絶滅危惧植物が守れる場
- ツチガエルが生息できる環境
- コウノトリを呼び戻す
- シジミのいる小川
- 湧水の利用(浄化して飲み)
- 池に水を補給したい(場所は巴川左岸土手の上の水路から水を取りたい)
- 工業用水を小川の保給水に利用したら

自然とのふれあいの場

- 自然観察園(ミズアオイ、オニバス)
- 水生植物園(アザミ、ハナショウブ、アヤメ、スイレン)
- 淡水魚観察園(淡水魚水族館、水槽)
- 野鳥観察小屋 ● ビオトープ ● ハス畑
- 虫の観察の場 ● 野鳥の餌場づくり
- 体験田んぼ ● トンボ池、メダカ池
- 水辺の生き物を捕ることができる場
- 身近な生き物に触れ合える場
- 白サギが舞う風景を眺められる場所
- 綿花の栽培(機織に利用)
- 体験田んぼはいらない(水田は周辺の民地協力を得る)

緑化(彩り)

- 多目的広場の周りに常緑樹を植える ● 実のなる(収穫できる)木を植える ● 雑木
- 桜並木(河津桜) ● 紅葉並木 ● 遊水地の堤には花や低木を植栽(コスモス、彼岸花、桜)
- 四季折々の花 ● バラのトンネル ● 樹種を選定し記念植樹の場に ● ナンジャモンジャの木

防災機能(災害時の避難地・延焼防止、降雨時の雨量調整・洪水防止などの場)

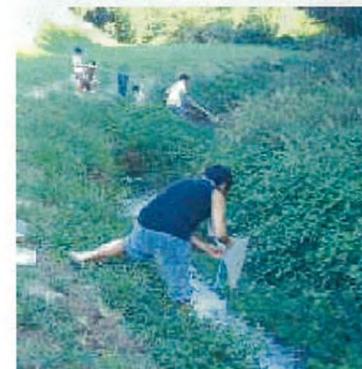
- センターハウスなどや駐車場は高床式に(舞台に利用、下に水が溜まるように)

レクリエーション（遊びの場）

●アスレチック遊具のイメージ



●水遊び場（小川）のイメージ



●釣り場のイメージ

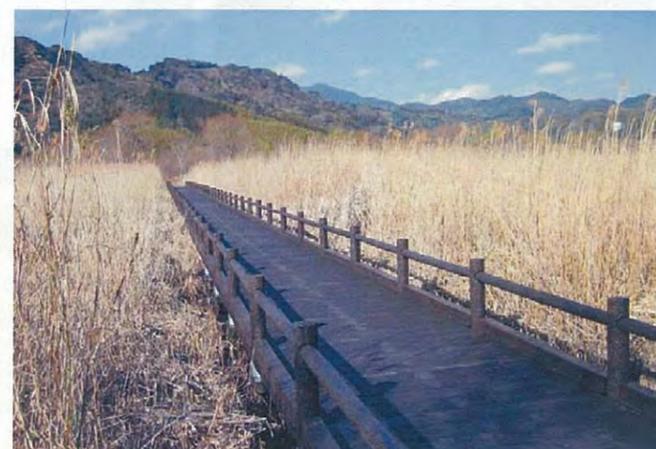
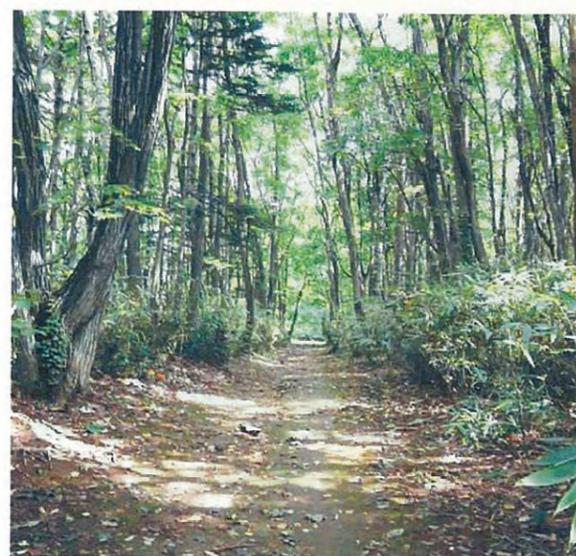


レクリエーション (散歩や憩いの場)

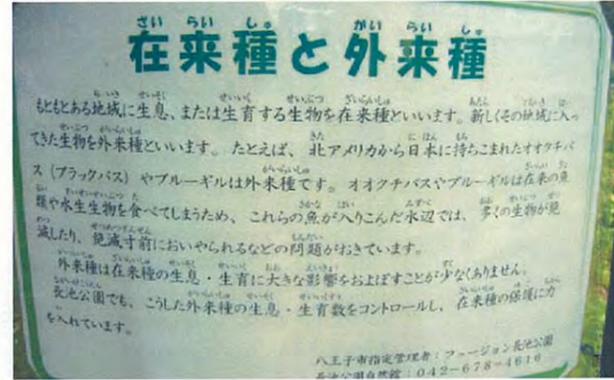
●芝生広場のイメージ



●ウォーキングコースのイメージ



●自然観察園のイメージ



●ハス畑のイメージ



●堤には花や低木を植栽のイメージ



●麻機の歴史展示（資料館）のイメージ



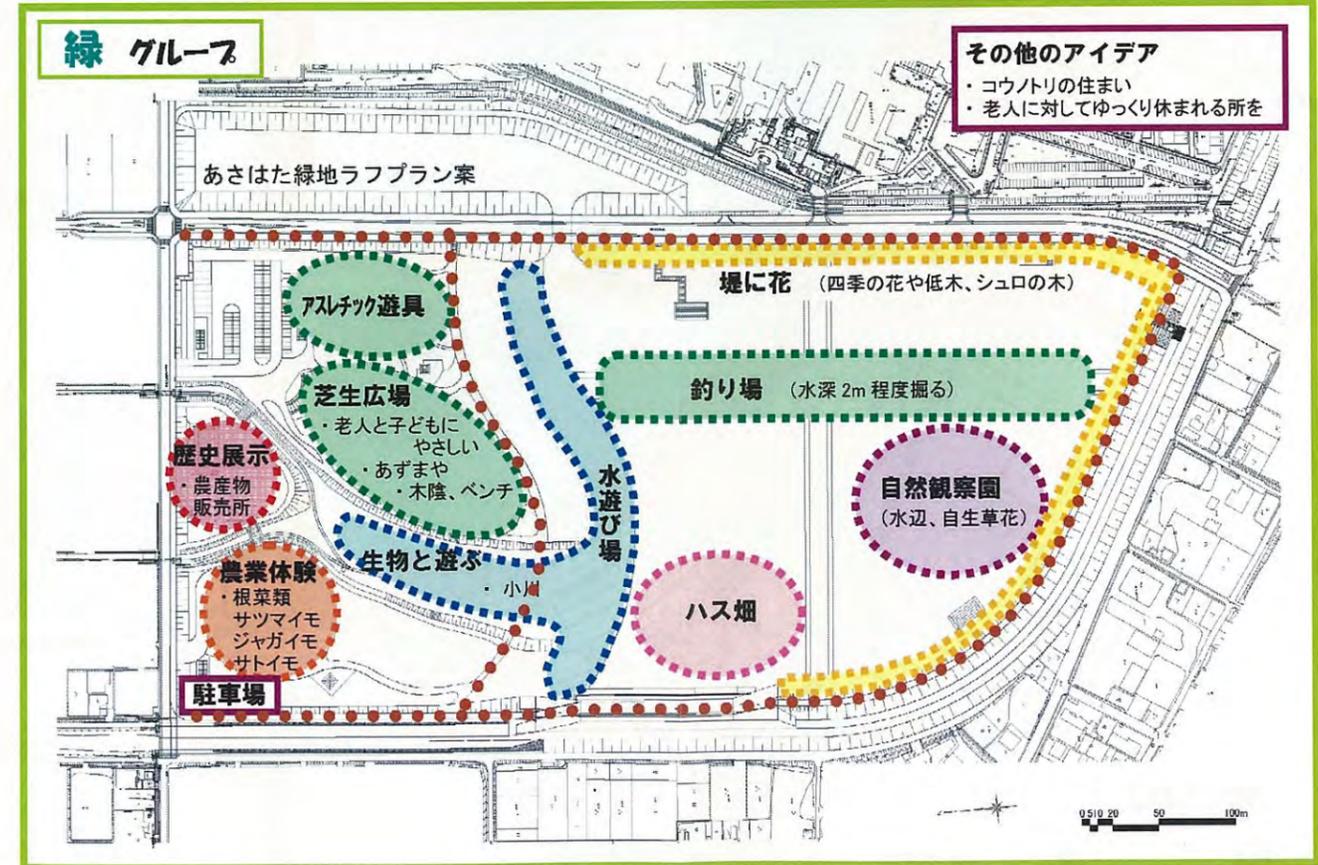
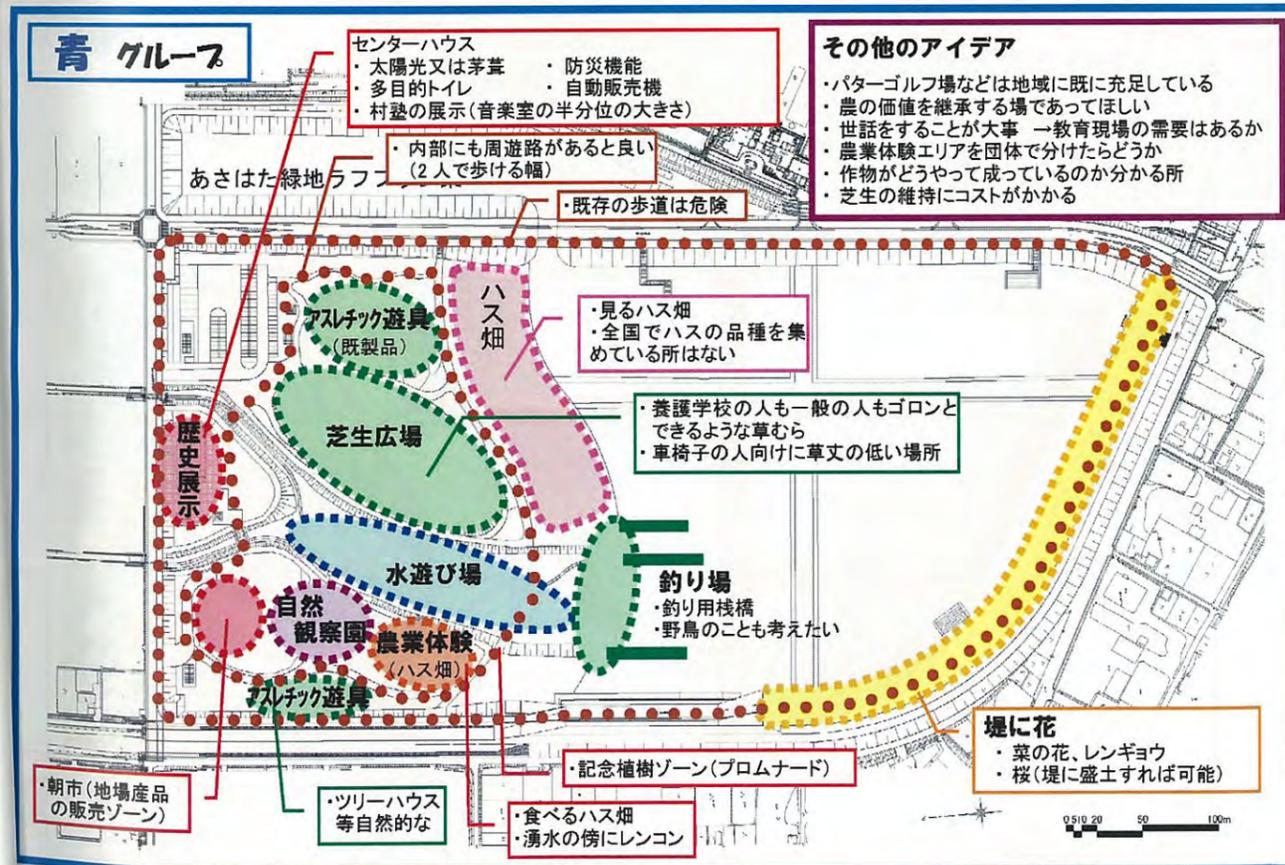
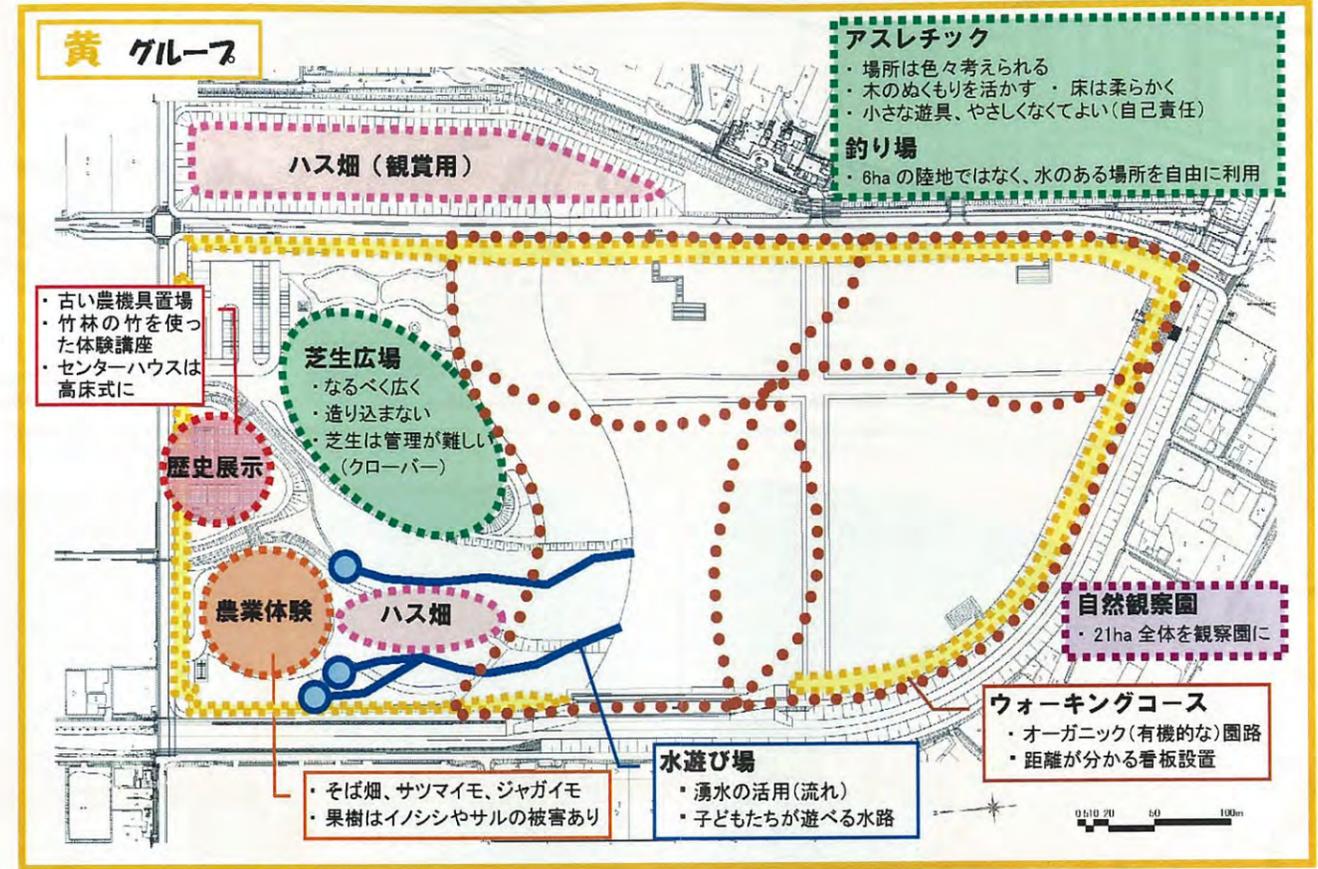
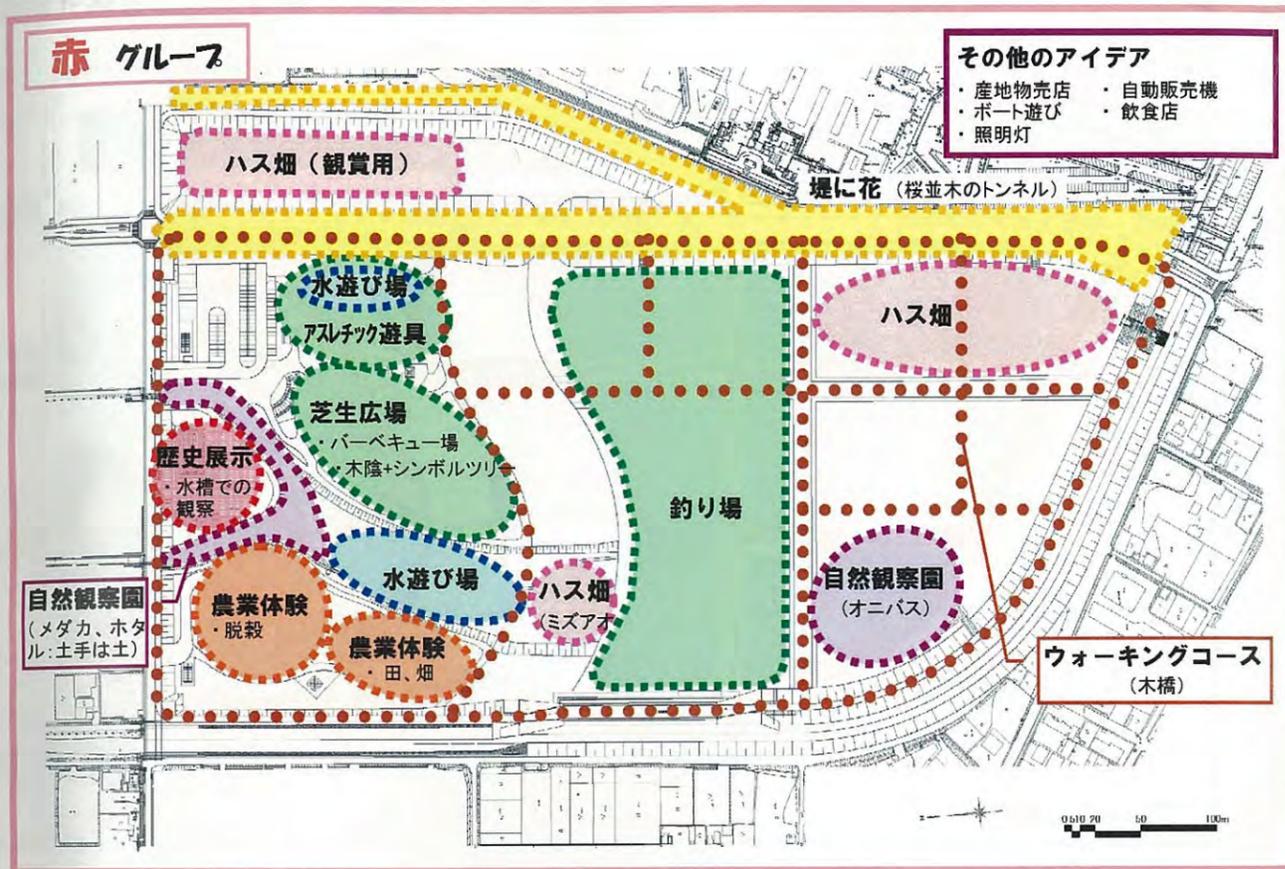
●農業体験のイメージ



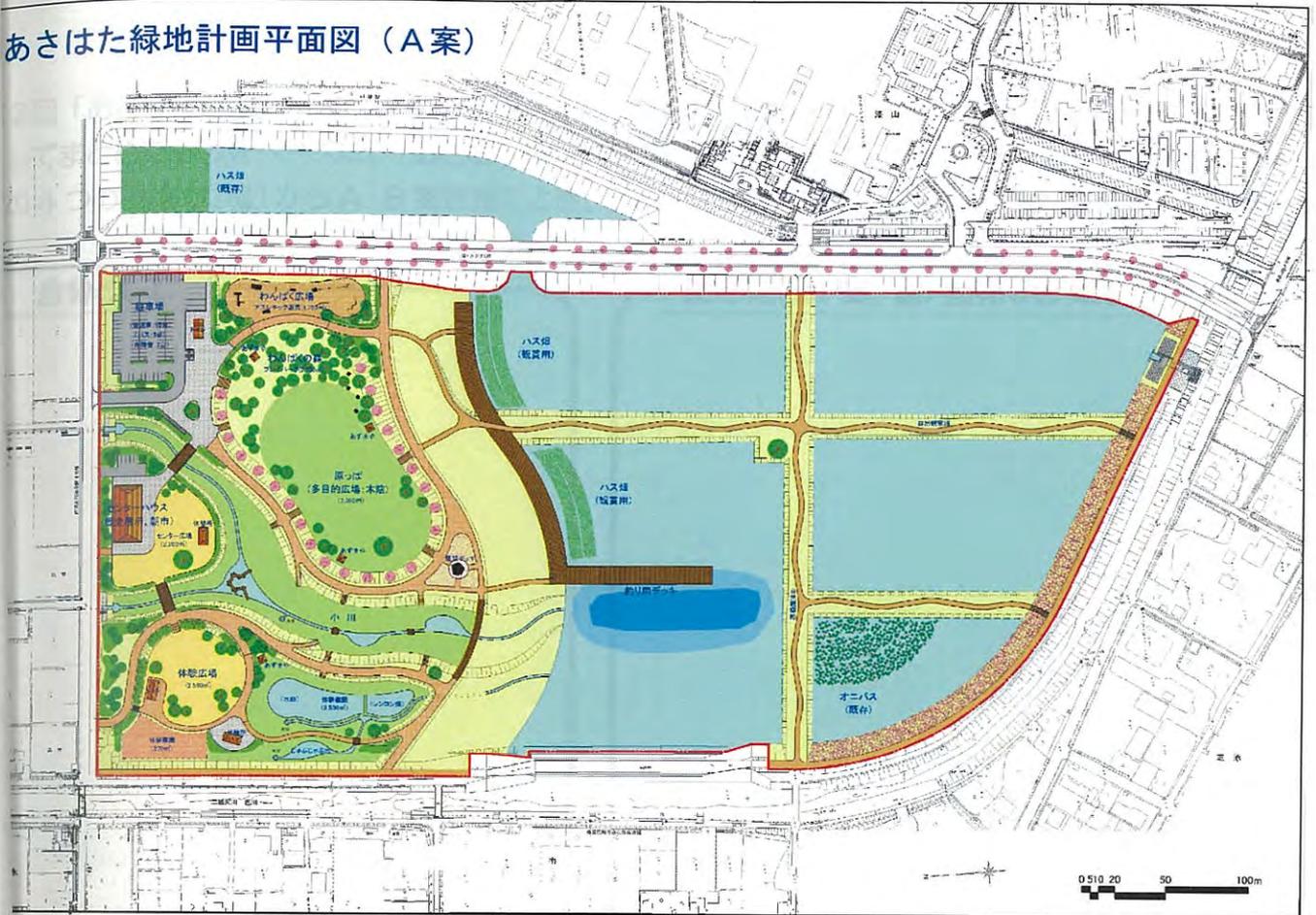
(3) 第3回ワークショップ

第3回ワークショップで配布した資料は次頁のとおりです。

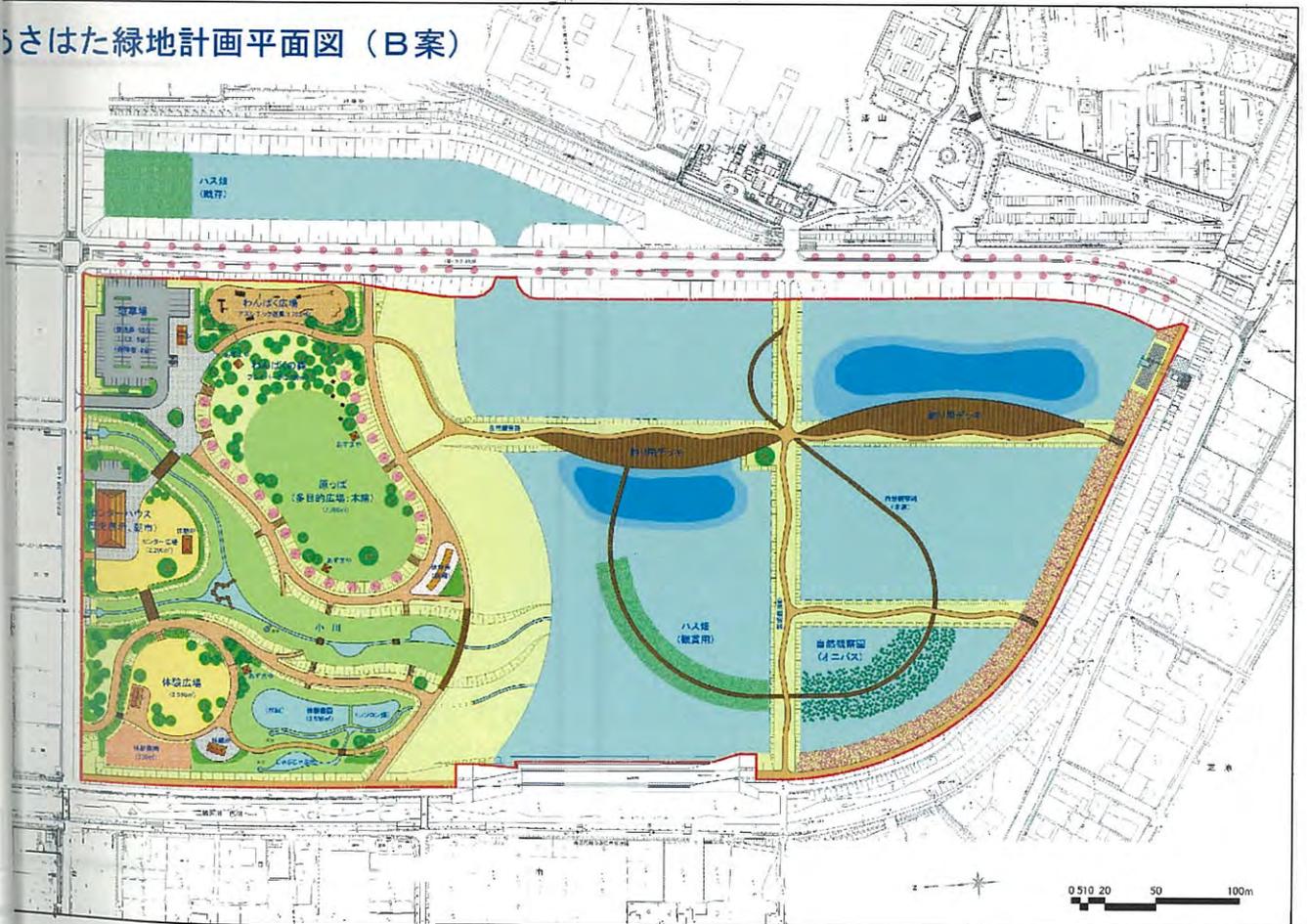
第2回ワークショップ「みんなの夢を形にしよう！」のまとめ (各グループが作成したアイデア配置プランを、ゾーニング図としてまとめました。)



あさはた緑地計画平面図（A案）



あさはた緑地計画平面図（B案）



ワークシート

第2回「あさはた緑地」ワークショップで、各グループが作成したアイデア配置プランをゾーニングしてまとめたものをベースに、『あさはた緑地計画平面図 A案・B案』を作成しました。この4つの視点(立場)からA・B案を見たとき、良いところや課題などについて考えてみましょう。

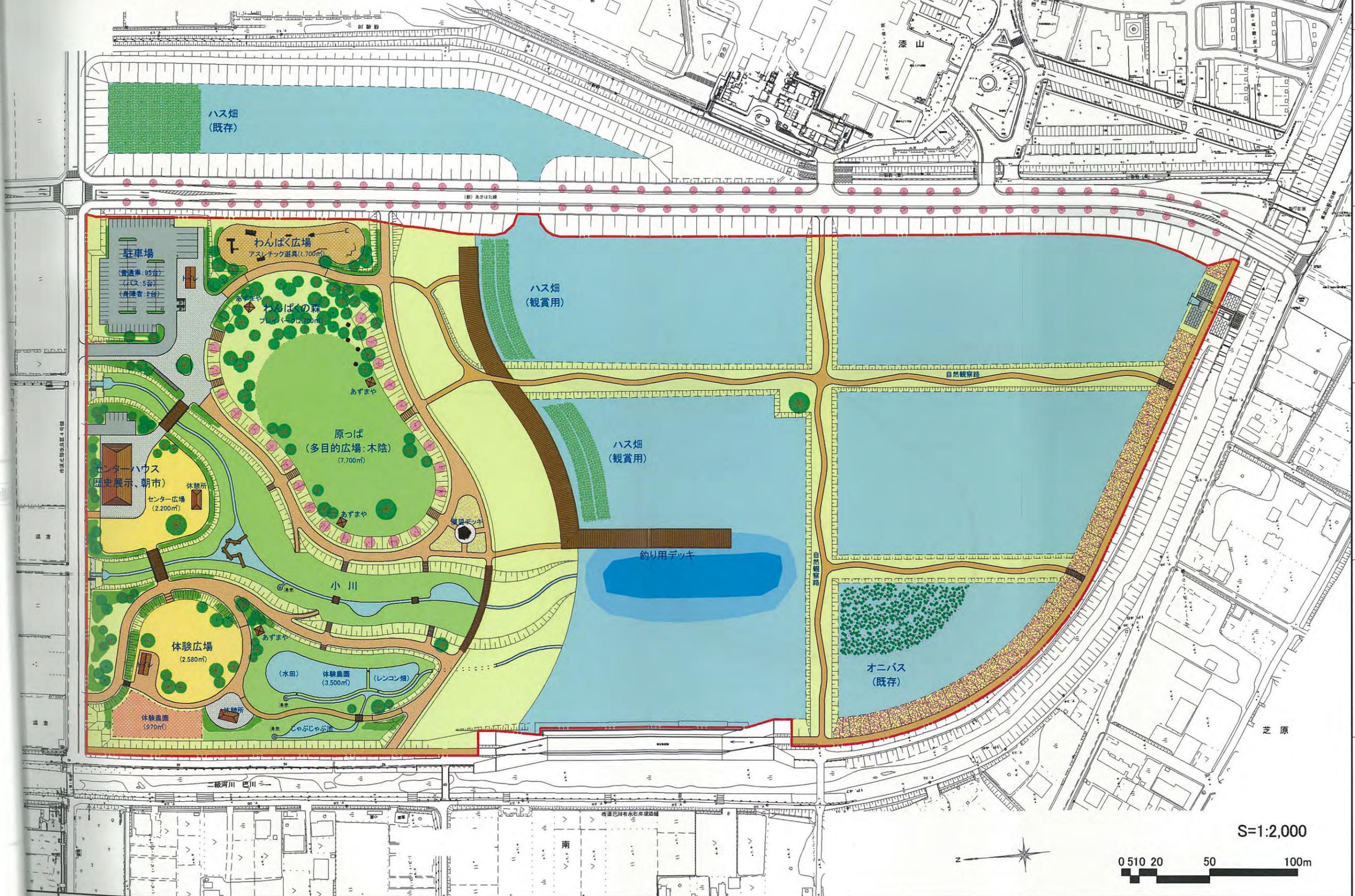
自分として

生き物(魚、虫、鳥、植物など)として

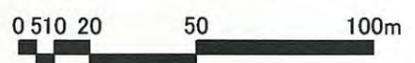
緑地への来訪者(来園者)として

緑地の管理者として

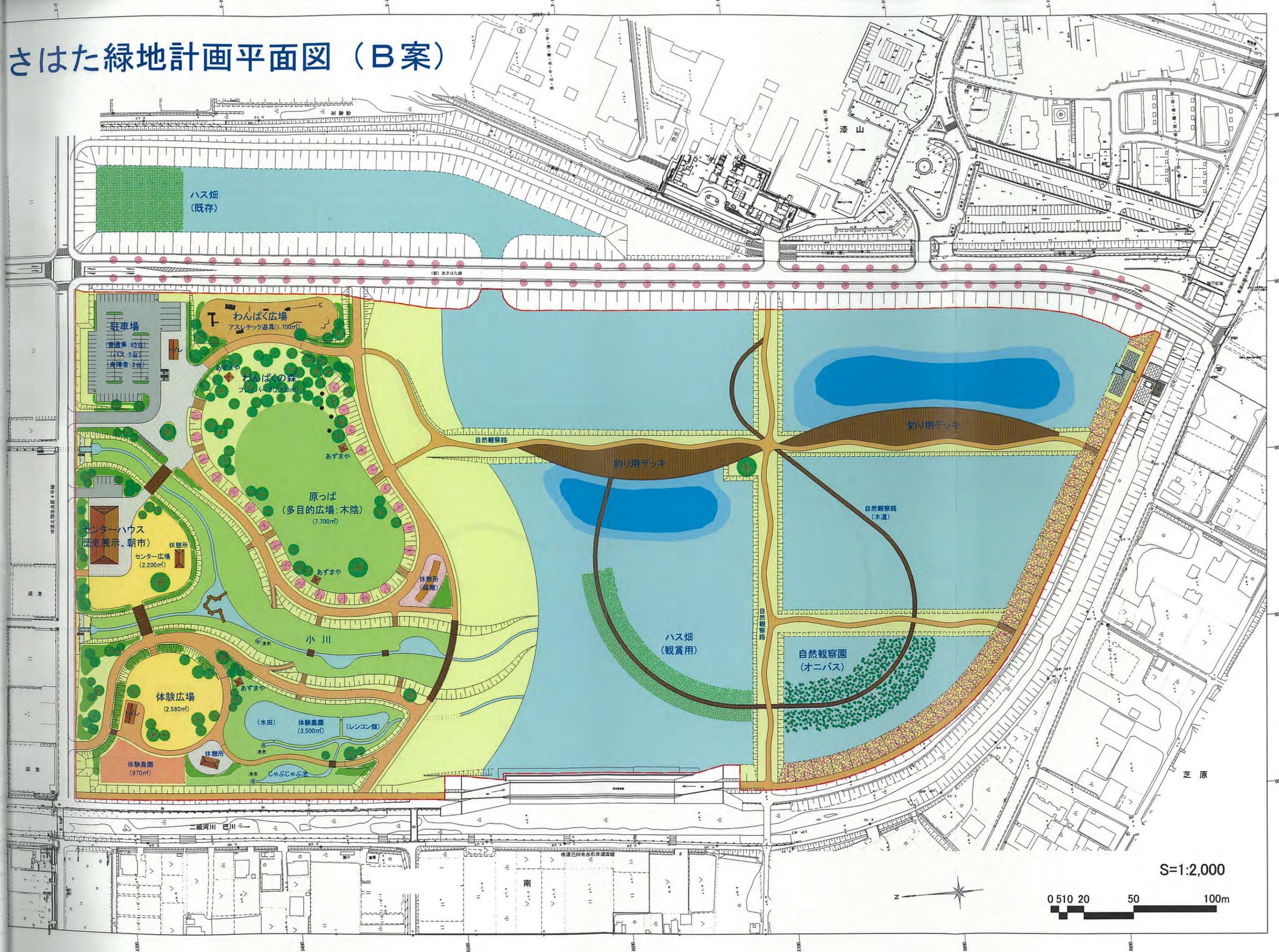
あさはた緑地計画平面図 (A案)



S=1:2,000



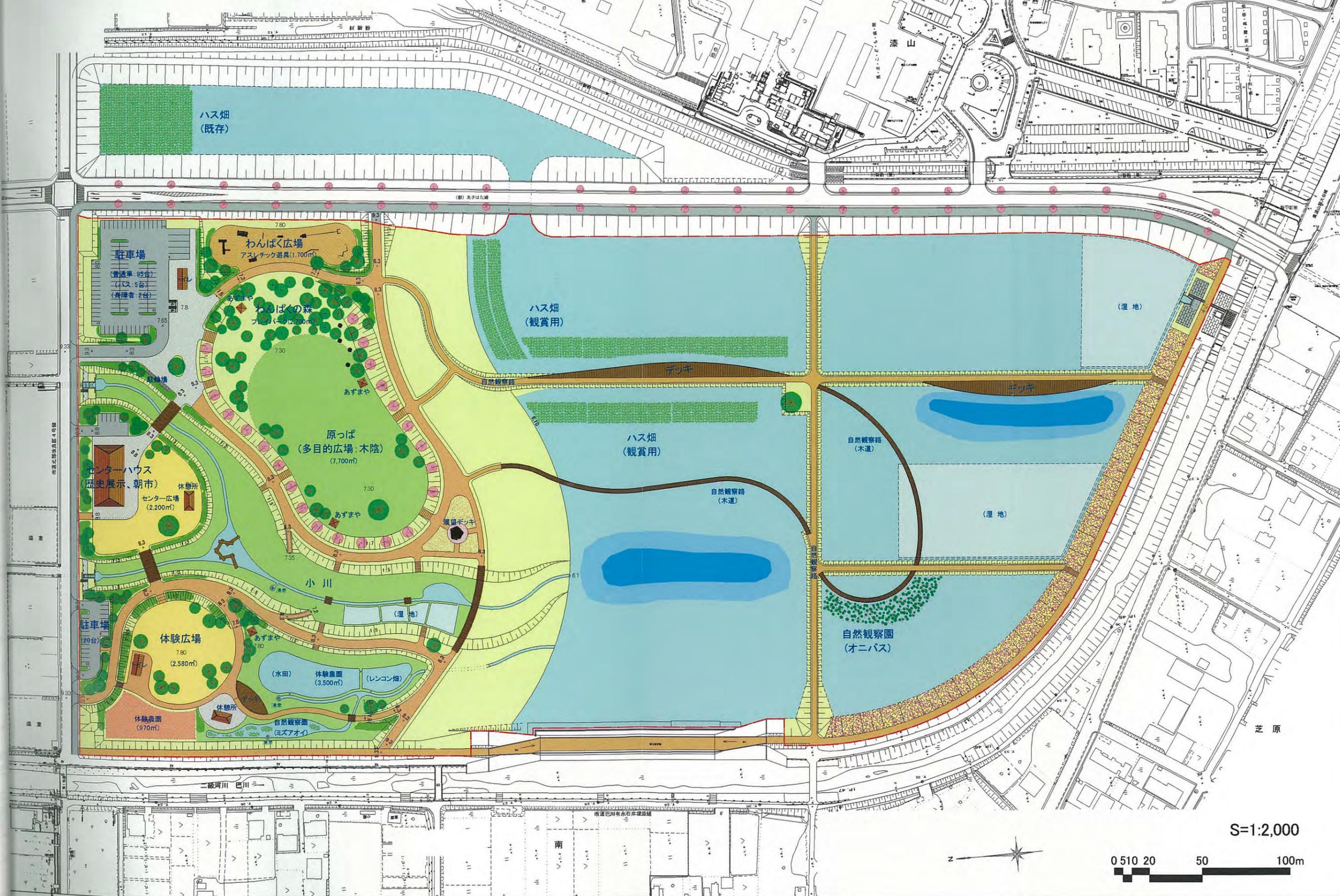
さはた緑地計画平面図 (B案)



S=1:2,000



さはた緑地計画平面図 (案)



S=1:2,000

